

平成27年2月27日  
最終講義

# 「私の履歴書」

～島原の子守唄に魅せられて～

長崎大学

高橋 正克

長崎大学入学まで

出生地

大阪市生野区

小学校1年生～高校3年生まで

ひらかたし

枚方市中宮北町

# 長崎(大学)に来た理由とは

ねやがわ

寝屋川高校で3年間、

コーラス部で活動

2年生の終わり頃、進路はまだ未定・・・

ソプラノパー練で、所在なげなひととき・・・  
ベースの先輩が何か口ずさんでいる・・・

# 長崎(大学)に来た理由とは

おどみゃ～しまばらの～

おどみゃ～しまばらの…

先輩，それええ唄ですねえ。

どこの唄ですか？

(中略)

# 長崎(大学)に来た理由とは

いいなあ・・・島原・・・島原って何処？  
・・・長崎かあ・・・！

そうだ！ 長崎に行こ～お  
・・・薬学部もあるし・・・  
・・・一期校やし・・・

その頃、化学  
好きでした！



受験は京都教育大学藤森学舎でOK

# 長崎(大学)に来た理由とは

薬学部京都試験場で・・・

昭和43年3月3日・4日

・・・確か、雪が積もっていました・・・

二日目の難関・・・数学で・・・

# 長崎(大学)へ来た頃・・・

いきなりホームシック！

城栄町の護国神社レベルの個人宅に下宿

電話がない・・・

家族の団欒にはいる気兼ね・・・

特急かもめ(長崎一京都)で11時間！

急なコンパで夕食不要を伝えるのに  
1時間歩かなければならないし・・・

# 長崎(大学)へ来た頃・・・

待ちわびた夏休みも終わって再び長崎へ  
百足が落ちてきて・・・間借りへ転居

大学紛争がますます過激に・・・

ノンポリでは肩身が狭いので、夏休み前には  
とりあえず浜の町でのデモ参加・・・

しかし、内側はお約束

クラ討、クラ討で疲弊しきった頃・・・  
大学ロックアウト・・・迷わず帰省



# 大学2年の不思議な出会い

薬学部オリエンテーションのバスで..

バスの中で自己紹介, 何かやれ! ...

- ♪ 正直いいさんポチ借りてきは幾万ありとても  
もしカラスがかあかあはとぽっぽ, ぽっぽ  
ぽっぽで飛んで遊べらぽでこんちくしょで  
やっつけろ~五月は鯉の吹き流し, なあんで  
間がいいんでしょうじきいいさんポチ...



たまたま横に座った新任の教授が関西人

# 4年次の特別実習教室配属

2年次の出会いから，教室に出這入り♪

稲荷 恭三

大山美智子

小笠原 孝

高橋 正克

村岡 繁

矢野 俊夫

塩析，透析，電気泳動，カラムクロ  
グラフィーなど生化学的技術を  
医学部原研で学ぶ（4年次）

卒論テーマ

Morphine の Radioimmunoassay  
に関する基礎研究

指導教員

小井田雅夫助教授

昭和町の開発・発展状況が毎年わかるように同じ場所で




昭和47年3月 薬学部屋上から昭和町方面を臨む

# 薬剤師国家試験

## 臨床検査技師国家試験

とれる資格は  
とる♪



### 薬剤師

定員40名だった頃の国家試験合格率は99%！  
しかし、定員80名の昭和42年入学者からの  
合格率は60%程度。年2回の受験機会が救い。

### 臨床検査技師

薬／獣医／理学部などの課程修了と特例講習会(昭和46年～52年のみ)の受講で受験資格が認定。本学薬学部では昭和48年にのみ特例講習(集中講義と実習)が行われた。合格率は60%程度と低いが、特例講習会受講者は72%の合格。本学の合格率は・・・それは分かりません。

# 初めての口頭発表(大学院2年)

第26回日本薬理学会西南部会 昭和48年11月(琉球大)

モルヒネ抗体; ハプテン構造による特異性の変化について

長大・薬・薬物 高橋正克 小井田雅夫 金戸洋

〈緒言〉先に、我々は高分子の担体に morphine 誘導体を結合させてそれらの鎮痛効果について報告した。今回、三種の morphine 誘導体-高分子 conjugate を抗原とし、haptens としての麻薬性鎮痛薬の免疫学的な性質について検討し、興味ある結果を得たので報告する。

〈方法〉 Haptens として, oxymorphone の 6-carbomethoxyimino 誘導体 (O-6-C), morphine の 6-succinate (M-6-S) 及び morphine-3-glucuronide (M-3-G) を, 水溶性 carbodiimide を用いて牛血清 albumin とそれぞれ結合させた。得られた conjugate を, 透析更にゲル濾過を行ない精製し, これを抗原とした。各 conjugate 5mg を phosphate-buffered saline (0.05M, pH 7.0) に溶かし, 同量の complete Freund's adjuvant と共に emulsion とし, 雌性家兔(体重 3 kg 前後)の皮下, 筋肉, 足蹠等に分散投与した。追補免疫として, 二週間間隔で一回につき 3 mg を計 4 回以上同様に投与した。最終投与後, 約 10 日目に採血して得た血清を抗体試料とし, 各々の抗体の

# 修士論文～英語で作成♪

Morphine specific antibodies: strict dependency of the immunological specificity on the hapten structure and applicability to radioimmunoassay of morphine in urine.

モルヒネ特異的抗体：ハプテン構造に対する免疫学的特異性の厳密な依存性と尿中モルヒネの放射免疫測定法への応用性

3種のモルヒネ誘導体をハプテンとしたモルヒネ抗体を作製し、放射免疫測定法によって、種々のモルヒネ誘導体による阻害から抗体の特異性を検討した。いずれの抗体の特異性もハプテンの構造に依存した。さらに、モルヒネやその主代謝物に特異的な抗体を用いて、尿中モルヒネの微量定量を行うことができた。

— 綜 説 —

依存性薬物の免疫学的定量法に関する最近の進歩

高橋 正克, 小井田雅夫, 金戸 洋

長崎大学薬学部薬物学教室\*

(昭和49年11月29日)

緒 言

生体が抗原—抗体反応の系に備えている高度な特異性とひろい適用性は, この系を morphine などの小分子の定量に応用した場合にもいかに発揮されうる. 小分子物質は一般にそれ自身免疫原性をもたず抗体を産生しえないが, 免疫原性をもつ高分子に共有結合させて生体に投与すると高分子のみならず, 小分子物質とも特異的に反応する抗体が産生される. 1910年代すでに Landsteiner<sup>1)</sup> によって確立されたこの原理に基づき, 1959年 Yalow と Berson<sup>2)</sup> による radioimmunoassay (以下 RIA) の導入, さらに高分子—小分子結合法の進歩, 放射標識化合物の普及によって, 高分子化合物のみならずステロイドホルモン, 麻薬等に至る多種の小分子化合物について RIA を中心とした免疫学的微量定量法が確立され, 臨床検査法としてひろく用いられている.

ここでは, RIA の原理やホルモン等の定量法は他の著者によるすぐれた綜説<sup>3)</sup>, 雑誌<sup>4~6)</sup> 等にゆずり, ここ数年急速に進歩した依存性薬物の免疫学的定量法について各論的に綜説する.

## 臨床研究

Epidural Morphine の鎮痛効果発現  
の機序に関する検討

久保田史郎\*<sup>1</sup> 中野仁雄\*<sup>2</sup> 小柳孝司\*<sup>3</sup>  
原野清\*<sup>4</sup> 野元保孝\*<sup>4</sup> 高橋正克\*<sup>5</sup>  
小井田雅夫\*<sup>6</sup>

## はじめに

硬膜外腔への塩酸モルヒネの注入 (Epidural Morphine) により, すぐれた鎮痛効果が得られることが近年, 報じられている<sup>1)</sup>. われわれも, 1979年8月<sup>2)3)</sup>に報告して以来, この問題についてひきつづき検討を加えてきた<sup>4)</sup>. 本法のすぐれた鎮痛効果についてはすでに異論のないところと思われるが, その効果発現の機序, あるい

混じ腰部硬膜外腔 (L<sub>2-3</sub>, L<sub>3-4</sub>) に, one shot 法で注入した. 術後疼痛患者2名に対しては頸部硬膜外腔 (C<sub>7</sub>-Th<sub>1</sub>) に注入した. また, 急性肺炎患者1例には, 腰部 (L<sub>3-4</sub>) より頭側4cmまで挿入したチューブによる持続硬膜外法を行なった.

鎮痛効果の判定には独自の pain score により観察を行なった. すなわち, 患者が疼痛を訴



## **URINARY EXCRETION PATTERNS OF MORPHINE IN HUMANS FOLLOWED BY AN RADIOIMMUNOASSAY METHOD**

Masakatsu TAKAHASHI, Masao KOIDA, Hiroshi KANETO,  
Yutaka GOTO\* and Sumitaka HASEBA\*

Department of Pharmacology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Nagasaki University,  
Bunkyo-machi, Nagasaki and \*Deperonent of Anesthesiology, School of Medicine,  
Nagasaki University, Sakamoto-machi, Nagasaki, Japan

Recently, morphine was added to the list of compounds which can be detected in biological fluid by radioinimunoassay methods (1-4). Production and the specificity test of the antibodies directed to three morphine derivatives have led to development of radio immunoassay of morphine by the use of morphine 3-glucuronide (M-3-G) directed anti body (5). In the present experiment, applicability of the method for clinical use was tested.

Morphine HCl was injected i.v. into live humans as the basal anesthetic in doses of 10 to 50 mg/patient and thereafter 24 hr urine samples were collected for one week. Dur ing the experimental period, other drugs known to interfere the binding of morphine to the antibody were not ingested. The sample was stored below -20°C before analysis and the radioimmunoassay of morphine was carried out as previously described (5). Before analysis, the urine sample was warmed to room

# 私の履歴書 ～学位取得までの道のり～

日本学術振興会 薬学奨励研究生

昭和49年4月～昭和52年3月

薬学研究科が修士課程のみで博士課程がない国立大学6校を対象に毎年6名の奨励研究生の募集があった。

薬学奨励研究生の期間は4年が上限であったが、助手の採用が内定したので3年で辞退した。

# 私の履歴書 ～学位取得までの道のり～

薬学博士(九州大学) 昭和58年2月

## 学位論文題目

モルヒネの作用機構に関する研究—特に脳内エンケファリンおよびオピオイドレセプターを中心に)

モルヒネの鎮痛効果, 耐性および依存形成機構における脳内エンケファリン, オピオイド受容体の役割を検討した。モルヒネ鎮痛とエンケファリン含量に直接の関連はないが, 反復投与後の脳の線条体でエンケファリン含量が増加し, これが退薬症候の発現に密接に関連することを見いだした。また, オピオイド受容体の増加も見いだし, これらの変化がモルヒネに特異的であることをリチウム, レセルピンを用いて確認した。

# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～

ミネソタ大学医学部薬理学研究室へ

(Dr. Takamori's Lab)

博士取得後研究員

昭和59年3月～昭和61年3月

留学期間中、助手から講師へ昇任(昭和60年4月)

Twin City : ミネアポリス と セントポール

# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～



# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～

## 要望書

私は長崎に在住する長崎大学薬学部助手高橋正克と申し、大学で麻薬性鎮痛薬に関する研究を行っておりですが、来る3月26日よりアメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリスに位置するミネソタ大学医学部薬理学講座に客員研究員として留学し、A.E. Takemori 教授のもとでこの麻薬研究を遂行することになりました。まことところによると、偶然にもわか長崎市は、ミネアポリスと双子都市であるセントポールと姉妹都市であるとのこと、今回の留学先が私自身とても親しみを深くおもわれました。

長崎大学でも多くの方が留学しているのは衆知のことですが、ミネソタ大学医学部への留学は私が初めてではないかと推察しております。また、セントポールからは毎年交換留学生が来崎されているようで、私も本年度の留学生である Natasha Vaubel さんとお会いして、ミネソタ、セントポール、ミネアポリスのことについて少々お話しをうかがいました。

私もあの広いアメリカ合衆国の中で、長崎と姉妹都市を結んだセントポールと双子都市のミネアポリスに留学することは非常に興味あることで、長崎とセントポール、ミネアポリスとの交流に少しでも役に立つのであればいいかと自負しております。

つきましては親善の一役を買いたく、出来ましたら本島等長崎市長のセントポール市長宛のラ、セージにだけいただけましたら幸いです。そのことにより、私の留学も一段と意味深いものになるのではないかと考えております。どうかよろしく御考慮下さるようお願い申し上げます。

なお私の家内も同伴いたしますが、家内は長崎大学薬学部卒業後現在まで13年間長崎市役所中央保健所試験検査室に薬剤師として奉職して参りました。このことも長崎市との強いつながりであり、両市の交流の一役に立てたいと願っている次第です。

長崎市田上町314-19

長崎大学薬学部助手

高橋正克

長崎市長

本島等殿

昭和59年2月21日



OFFICE OF THE MAYOR

CITY OF NAGASAKI

Japan  
March 24, 1984

The Honorable George Latimer  
Mayor of Saint Paul

Dear Mayor Latimer,

I take the great pleasure of introducing to you Mr. Masakatsu Takahashi who is visiting Minneapolis to study at the Department of Pharmacology of University of Minnesota as an exchange visitor.

Mr. Takahashi is an assistant in the Department of Pharmacy of Nagasaki University and is making studies on the mechanism of action of narcotic analgesics. During his stay in Minneapolis, he will carry on studies under Professor A. E. Takemori of University of Minnesota.

He has a deep interest in promoting friendship between our cities. Prior to his departure, he met Miss Natasha Vaubel, who is an exchange student of this year, and was briefed on Saint Paul and Minnesota. He is looking forward to having various kinds of exchanges with the people of your city.

I would appreciate any assistance you may extend to him to make his stay in the twin cities memorable and fruitful.

I am very happy to learn from the minutes of the Sister City Committee that they were discussing the possibility of celebrating the 30th anniversary of our sister city relationship, which we will observe next year by sponsoring a tour to Japan. I would be delighted if you and your wife could join the group and visit our city on that occasion.

We will also discuss the details of the commemorative events of the 30th anniversary, and if possible, we wish to send a friendship mission to your city to further promote our friendship.

With my best wishes to you and the people of Saint Paul,

Sincerely yours,

*Hitoshi Motoshima*  
Hitoshi Motoshima

Mayor of Nagasaki

私の履歴書  
～ミネソタ大学留学～



OFFICE OF THE MAYOR

CITY OF NAGASAKI

Japan  
March 24, 1984

Mr. Charles R. Evans  
President  
Saint Paul-Nagasaki Sister City Committee

Dear Mr. Evans,

I take the great pleasure of introducing to you Mr. Masakatsu Takahashi who is visiting Minneapolis to study at the Department of Pharmacology of University of Minnesota as an exchange visitor.

Mr. Takahashi is an assistant in the Department of Pharmacy of Nagasaki University and is making studies on the mechanism of action of narcotic analgesics. During his stay in Minneapolis, he will carry on studies under Professor A. E. Takemori of University of Minnesota.

He has a deep interest in promoting friendship between our cities. Prior to his departure, he met Miss Natasha Vaubel, who is an exchange student of this year, and was briefed on Saint Paul and Minnesota. He is looking forward to having various kinds of exchanges with the people of your city.

I would appreciate any assistance you may extend to him to make his stay in the twin cities memorable and fruitful.

I am very happy to learn from the minutes of your meeting that you were discussing the possibility of celebrating the 30th anniversary of our sister city relationship, which we will observe next year by sponsoring a tour to Japan. I would be delighted if you and your wife could join the group and visit our city on that occasion.

We will also discuss the details of the commemorative events of the 30th anniversary, and if possible, we wish to send a friendship mission to your city to further promote our friendship.

With my best wishes to you and the members of your committee,

Sincerely yours,

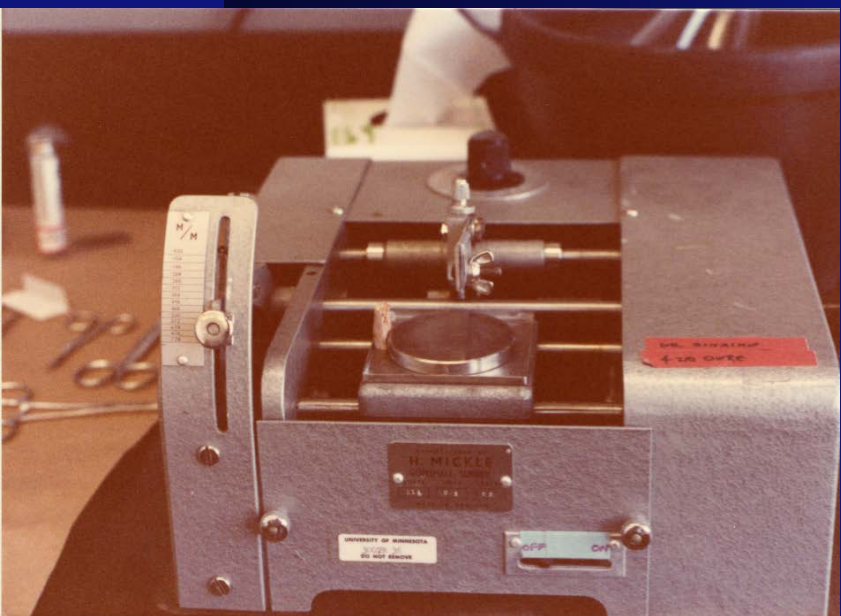
*Hitoshi Motoshima*  
Hitoshi Motoshima  
Mayor of Nagasaki

# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～





# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～



# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～



ラジエーターに欠陥があったとは！

# 私の履歴書 ～ミネソタ大学留学～

European Journal of Pharmacology, 149(3), pp.205-212; 1988

[http://dx.doi.org/10.1016/0014-2999\(88\)90650-4](http://dx.doi.org/10.1016/0014-2999(88)90650-4)

## **Irreversible binding of [<sup>3</sup>H] $\beta$ -funaltrexamine to brain slices of morphine-tolerant and -dependent mice**

Masakatsu Takahashi<sup>a</sup>, P.S. Portoghese<sup>a,b</sup>, A.E. Takemori<sup>a</sup>

a. Department of Pharmacology, Medical School, College of Pharmacy, University of Minnesota, Minneapolis, MN 55455, U.S.A.

b. Department of Medicinal Chemistry, College of Pharmacy, University of Minnesota, Minneapolis, MN 55455, U.S.A.

マウスへのモルヒネ連日投与による耐性・依存形成に伴うオピオイド  $\mu$  受容体の変化を脳線条体切片に対する  $\beta$ -フナルトレキサミンの非可逆的結合様式から検討した。耐性依存形成に伴い、受容体数の変化はなかったものの、オピオイド  $\mu$  受容体結合の親和性の上昇が認められ、この変容と耐性・依存形成の関連を示唆した。

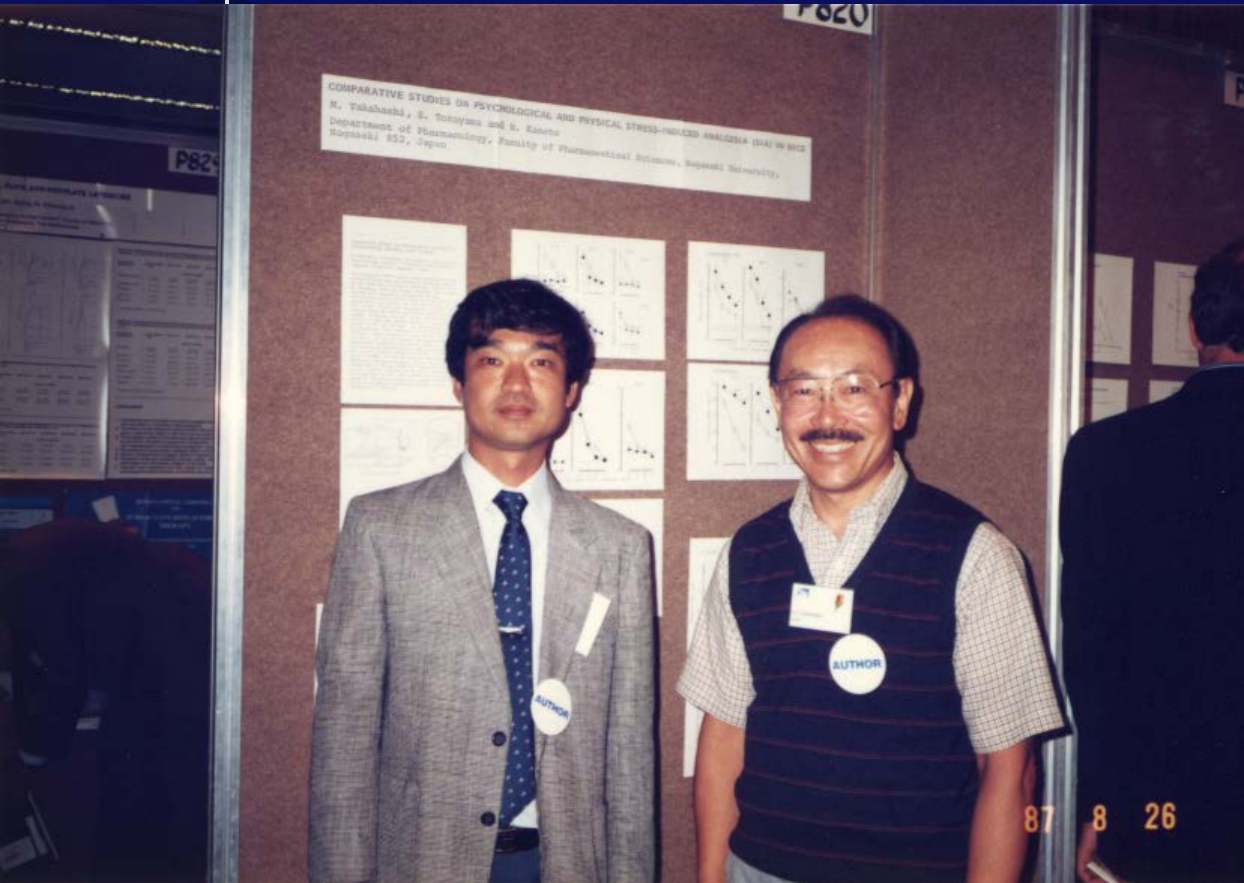
# 私の履歴書 ～国際薬理学会参加～

昭和62(1987)年8月



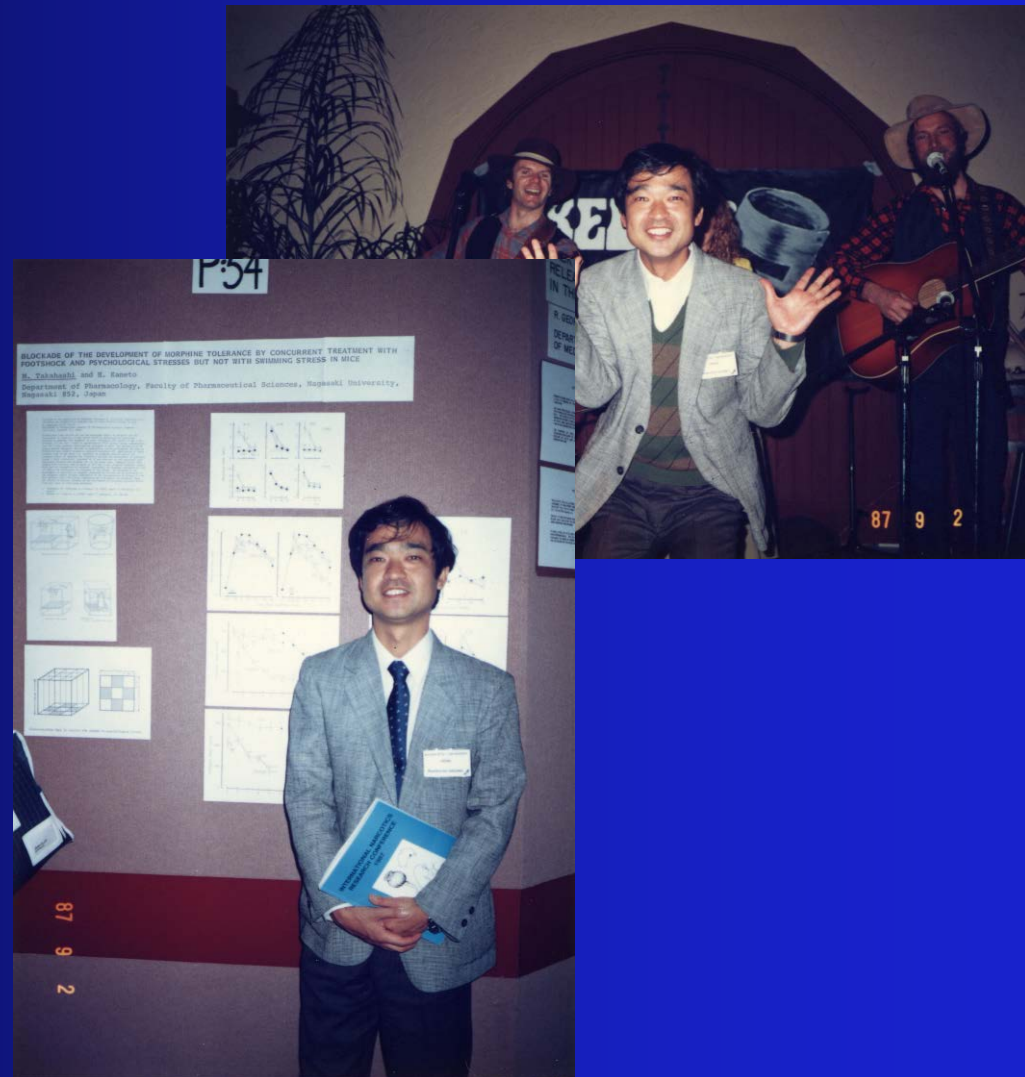
# 私の履歴書 ～国際薬理学会参加～

昭和62(1987)年8月



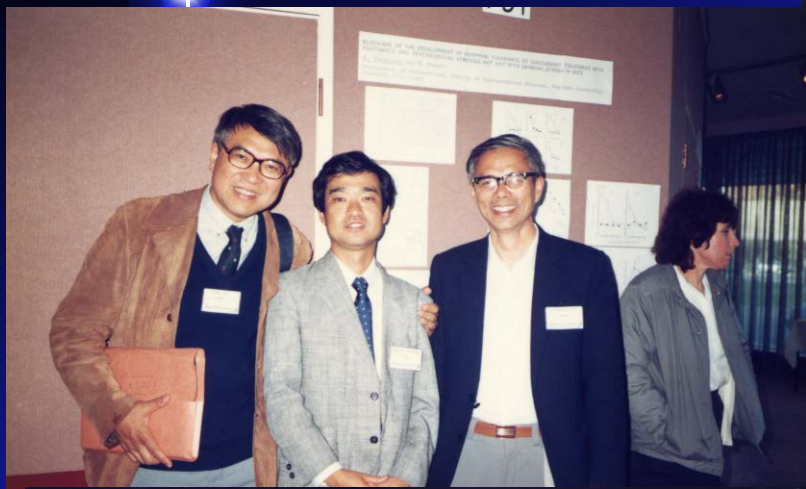
# 私の履歴書 ～国際麻薬研究者会議～

昭和62(1987)年8,9月



# 私の履歴書 ～国際麻薬研究者会議～

昭和62(1987)年8,9月



# 私の履歴書 ～国際麻薬研究者会議～

昭和62(1987)年8,9月





# 私の履歴書 ～研究テーマについて～

麻薬研究という基  
盤の上で

医薬品の適正使用に関する基礎的および臨床薬  
学的研究

依存性薬物の作用機構に関する研究

ストレス状態下における生体応答の変容

学習・記憶に関する研究

# 私の履歴書 ～研究テーマについて～

## ストレス状態下における生体応答の変容

The Japanese Journal of Pharmacology, 46(1), pp.1-5; 1988 <http://doi.org/10.1254/jjp.46.1>

### **Blockade of the Development of Analgesic Tolerance to Morphine by Concurrent Treatment with Opioid- But Not Non-Opioid-Mediated Stress in Mice**

Masakatsu TAKAHASHI, Yoshiki DEGUCHI, Hiroshi KANETO

The Japanese Journal of Pharmacology, 46(4), pp.418-420; 1988 <http://doi.org/10.1254/jjp.46.418>

### **Distinctive Implication of Emotional Factors in Various Types of Stress-Induced Analgesia**

Masakatsu TAKAHASHI, Shogo TOKUYAMA, Hiroshi KANETO

The Japanese Journal of Pharmacology, 51(3), pp.329-336; 1989 <http://doi.org/10.1254/jjp.51.329>

### **Role of Adrenal Glucocorticoids in the Blockade of the Development of Analgesic Tolerance to Morphine by Footshock Stress Exposure in Mice**

Masakatsu TAKAHASHI, Keiko SUGIMACHI, Hiroshi KANETO

私の履歴書 ～研究テーマについて～  
ストレス状態下における生体応答の変容



# 私の履歴書 ～研究テーマについて～

## ストレス状態下における生体応答の変容

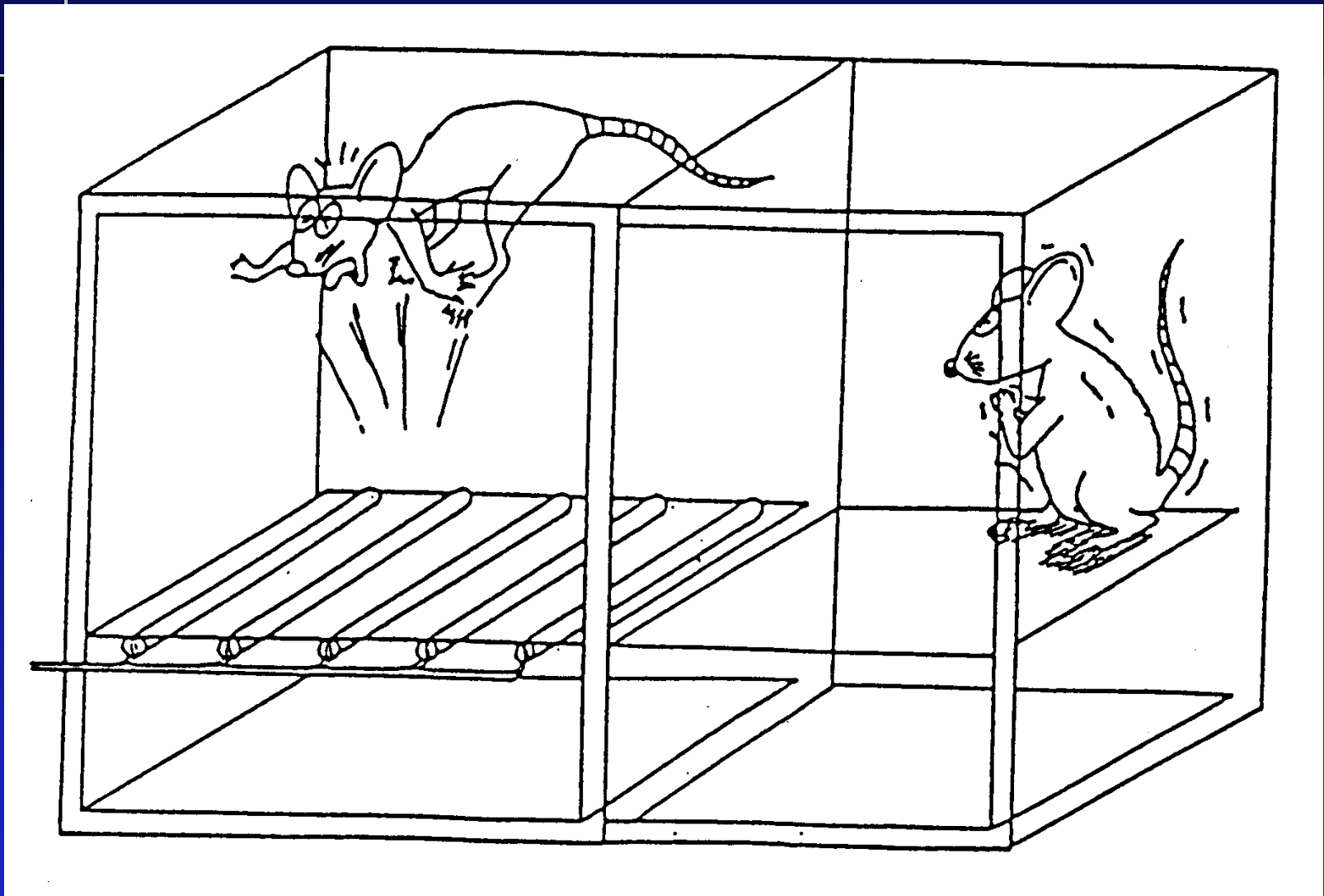


## 私の履歴書 ～研究テーマについて～ ストレス状態下における生体応答の変容

身体的侵襲を伴うストレスのみならず，身体的侵襲を伴わない社会心理的ストレスでも生体の防御機構としての鎮痛効果が発現することを初めて見出した。このストレス誘発鎮痛には脊髄のオピオイド受容体の関与が示された。また，ストレス負荷とモルヒネ投与を併用すると，ストレスの種類によってはモルヒネ耐性が形成されないこともはじめて見出した。耐性形成が**学習・記憶機構に関連する**生体適応反応であることから，連続的なストレス負荷が生体応答を変容させることが分かった。

現在，**ガン患者の疼痛抑制のためにモルヒネを使用すると，耐性や依存が形成されない機構を**解明するため，ストレスや疼痛モデル動物を用い，多面的に取り組んでいる。

私の履歴書 ～研究テーマについて～  
ストレス状態下における生体応答の変容



電気ショックストレス

社会心理的ストレス

# 私の履歴書 ～研究テーマについて～

麻薬研究という基  
盤の上で

医薬品の適正使用に関する基礎的および臨床薬  
学的研究

依存性薬物の作用機構に関する研究

ストレス状態下における生体応答の変容

学習・記憶に関する研究

# 医薬品の適正使用

麻薬鎮痛薬

モルヒネ

## 医療目的での使用

がんの激しい疼痛を緩和し、痛みによる食欲不振や不眠も解消し、抗がん治療にも耐えられる。この目的で使用すると、連用によっても効果は減弱することなく持続する。

## 陶酔・快楽目的での使用

陶酔感はたやすくなくなり、連用による依存形成からだんだんと強い耐え難い禁断症状が発現し、やがては、はげしいけいれんをおこし死に至る場合もある。

百害あって  
一利なし

覚せい剤

## 陶酔・快楽目的での使用

陶酔感は速やかになくなり、幻覚・幻聴・妄想がだんだんと強くなり、二度としないと誓っても、たった1回の使用でも起こりうる、いつ爆発するか分からない爆弾(フラッシュバック)を頭の中にかかえている恐怖を死ぬまで味わうことになる。



あまごい

ある民族が雨乞いの太鼓をたたくと  
必ず雨が降る。なぜ？

ある民族が雨乞いの太鼓をたたくと必ず雨が降る。なぜ

雨が降るまで雨乞いをする。

# 雨乞い三「た」論法

雨乞いの太鼓は、実のところ雨が降るまで続けられる。

太鼓をたたいた「**た**」**ので**雨が降った**た**！

だから、雨乞いに効果があっ**た**！

と言うのはおかしいですね



薬そのむ



なおった



薬のみかげです

# 三「た」論法

くすりを使った。

病気が治った。

だからその薬が効いた。

■ ■ ■

「これはおかしい！」と決めつける人は、  
どれだけいますか？

# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～

ふれあいサイエンス  
プログラム

麻薬・覚せい剤・睡眠薬乱用による身体的及び社会的弊害  
—小動物における行動異常の観察から—

研究成果公開促進費研究成果公開発表 (B)(実験実習形式)  
平成11年度科学研究費補助金研究成果「公開促進費」  
(平成11年8月)

平成11年度ふれあいサイエンスプログラムとして、高校生を対象に、麻薬・覚せい剤・睡眠薬の乱用による弊害を、マウスを用いた簡単な動物実験を実際に行なわせることによって、体験させた。

高橋正克, 中嶋弥穂子, 山本経之, 黒田直敬

平成11年度科学研究費補助金研究成果「公開促進費」

平成11年度  
ふれあいサイエンスプログラム

麻薬・覚せい剤・睡眠薬乱用による身体的及び社会的弊害  
—小動物における行動異常の観察から—

研究者グループ代表 高橋 正克  
共催 日本学術振興会

# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～ ふれあいサイエンスプログラム

平成11年9月1日

長崎大学学報

第600号

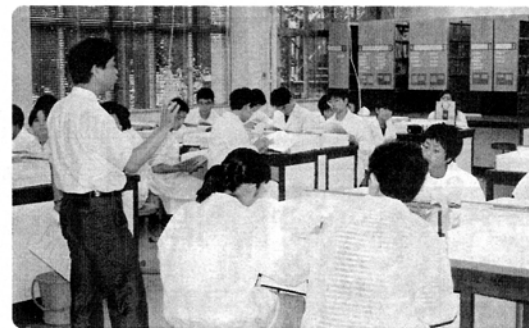
## 薬学部で「ふれあいサイエンス プログラム」を開催

薬学部では、高校生を対象に8月6日(金)から3日間の日程で、「麻薬・覚せい剤・睡眠薬乱用による身体的及び社会的弊害—小動物における行動異常の観察から—」というテーマで、薬物乱用の恐ろしさを実際にマウスを使った実験・実習で体験させ、薬物乱用防止を啓蒙する「ふれあいサイエンスプログラム」を開催しました。

「ふれあいサイエンスプログラム」は、大学の研究者グループと日本学術振興会の共催で、全国から採択された50テーマの1つで、理科離れが目立つ最近の中高校生に大学の研究室で研究を実際に体験させ、

将来、研究に興味を持たせよ  
れた新しいプログラムです。

定員を越える35名が参加し、  
せい剤のとりこになるのか、  
は? などの講義を受けた後、  
すのかかわいさに感動しつつも、  
する緊張感を体験しました。」  
眠薬を投与されたマウスの異  
乱用の恐ろしさを医薬品の適  
とともに、大学で行われてい  
ったようです。



動物実験を体験する参加者

麻薬・覚せい剤・睡眠薬乱用による身体的及び社会的弊害  
—小動物における行動異常の観察から—

# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～

## ふれあいサイエンスプログラム



生物



どうして麻薬や覚せい剤は一度やるとやめられなくなるのでしょうか。麻薬と覚せい剤はどう違うのでしょうか。麻薬や覚せい剤を使うとどんな症状がでてくるのでしょうか。でもモルヒネという鎮痛薬は麻薬だけけれど、ガンに侵された患者さんの激しい痛みを抑えるために使っています。その違いは何でしょうか。一緒に、ハツカネズミを使ったやさしい行動実験で、これらの疑問を解決してみましよう。麻薬や覚せい剤、睡眠薬の恐ろしさ、また医薬品としての有用性を、ハツカネズミが教えてくれます。

平成11年7月21日（水）長崎新聞

### 「薬物の怖さ知って」

長崎大学 薬学部

来月6日から 3日間 高校生に公開講座

長崎大学薬学部は、麻薬や覚せい剤、睡眠薬の乱用に  
よる身体的、社会的害悪を  
教える高校生対象の公開講

座を、八月六日から三日間の日程で開く。日本学術振興会と共催の「ふれあいサイエンスプログラム」の一環。動物実験による観察や覚せい剤の検出作業などの体験学習を中心に、若年者に薬物乱用の恐ろしさを肌で知ってもらおう。

大学の研究者から直接指導を受けながら研究の世界を見ることで、化学的な物の見方、科学を学ぶ喜びや驚きを得てもらおう目的もある。全国五十の大学でさまざまな分野の講座が開かれ、長崎大は大学院薬学研究所の高橋正克助教授（薬理学）が受け持つ。

実験では、参加者がハツカネズミに薬物を注射。麻薬モルヒネによる禁断症状、覚せい剤メタンフェタミンによる異常行動などを観察する。覚せい剤乱用者の毛髪に蛍光色素をつけて、薬物の存在を確認する実験もする。

問い合わせは同大大学院薬物研究科（電095・847・1111内線2570）。定員三十人。



# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～ ふれあいサイエンスプログラム



**薬物乱用 怖さ実感**  
高校生らに麻薬や覚せい剤などの薬物乱用の怖さを知ってもらう公開講座が七

日、長崎市の長崎大薬学部であり、高校生ら三十六人が参加した。講座では、実際にマウスに薬物を与えどのような影響をもたらすかを学んだ。写真。

覚せい剤を注射されて激しく動き回るマウスの観察や、睡眠薬が効く時間の実験などがあった。長崎北高二年の岡本悠里さんは「マウスがぐったりするのを見ると、薬物の怖さを感じると驚いた様子だった。同学部の高橋正克助教授は「若い世代

に薬物乱用が広がる中で、怖さを実感してもらえた。理科離れが進んでいるが、研究する楽しさも感じてもらえたのでは」と話していた。



平成11年8月7日（土）長崎新聞

平成11年8月8日（日）朝日新聞



実験などを通じて、麻薬や覚せい剤の恐ろしさを教える高校生向けの教育プログラムが六日から三日間の日程で、長崎大学薬学部で始まった。

○：日本学術振興会主催「ふれあいサイエンス」事業の一つ。同大学院薬学研究科の高橋正克助教授を講師に、県内の高校生三十五人が参加した。講義やビデオ鑑賞のほか、ハツカネズミを使った実験を通して、薬物依存による異常行動などを学んだ。写真。

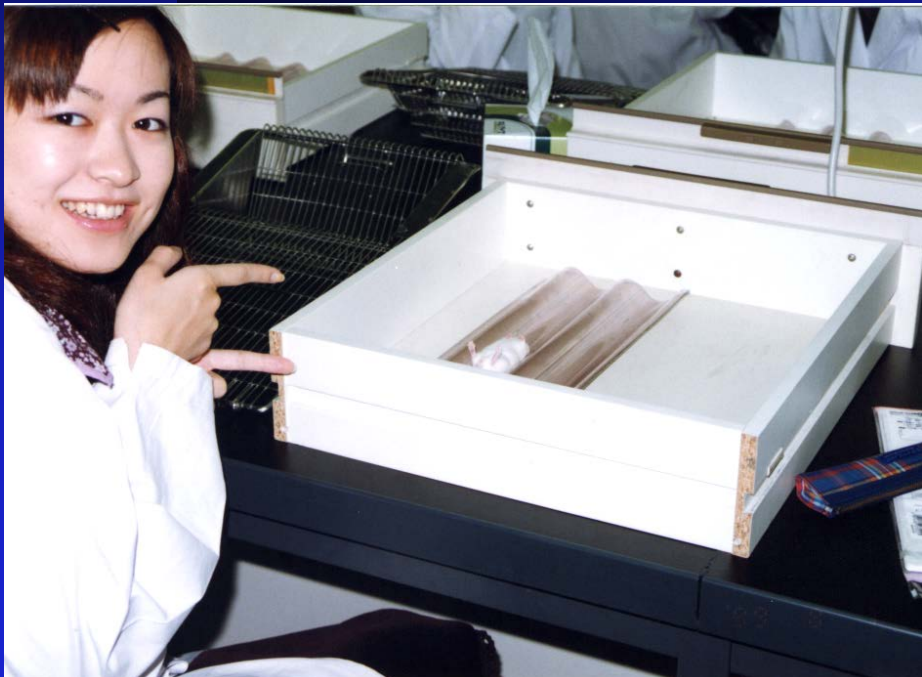
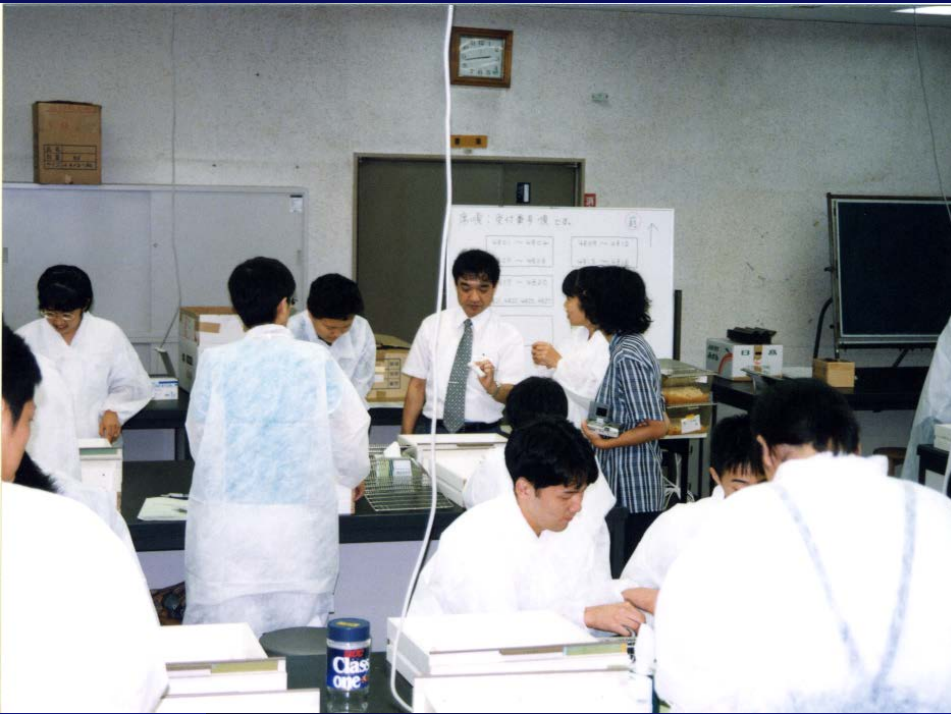


○：受講した高校生らは一様に「覚せい剤の怖さがよく分かった」。近年、薬物はますます若者の間に浸透、むしろむ傾向にある。「友達のふりをしてやって来る」ともいわれるので、くれぐれも注意を。

# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～ ふれあいサイエンスプログラム



# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～ ふれあいサイエンスプログラム



# 私の履歴書 ～科研費採択のなかで～ ふれあいサイエンスプログラム



# 私の履歴書 ～科研採択（代表者のみ）～

- 1) 内因性モルヒネ様物質の分離定量とモルヒネ投与による脳内での変動(昭和54年度, 奨励研究A)
- 2) 不安・恐怖による鎮痛効果発現の生理的意義とこれを指標とした抗不安薬の開発(平成5・6年度, 一般研究C)
- 3) がん性疼痛緩解におけるモルヒネの適正使用と耐性・依存不形成機構の解明(平成10年・11年度, 基盤研究C(2))
- 4) 麻薬・覚せい剤・睡眠薬乱用による身体的及び社会的弊害—小動物における行動異常の観察から—平成11年度研究成果公開促進費研究成果公開発表 (B)(実験実習形式)

など 8本

# 私の履歴書 ～社会貢献・出前講義～

## 社会貢献

長崎県麻薬管理者・小売業者講習会  
長崎県覚せい剤等乱用防止推進員研修会  
長崎大学公開講座  
藤津・鹿島薬剤師会講習会  
長崎市薬剤師会講習会  
長崎県保護司特別研修会  
薬種商全国統一薬事講習会  
長崎少年鑑別所収容少年に対する講話  
長崎県薬剤師会講習会  
長崎県病院薬剤師会第1回薬剤師研修会  
平成9年度卸統一試験研修会  
長崎県薬物乱用防止教育指導者研修会

医薬品の適正使用  
と薬物乱用

など 延べ26回

# 私の履歴書 ～社会貢献・出前講義～

## 出前講義

### 医薬品の適正使用 と薬物乱用

長崎県立鳴滝高等学校（平成16年7月14日）

対馬市立加志々中学校（平成22年9月29日）

対馬市立比田勝中学校（平成22年9月30日）

五島市立三井楽中学校（平成23年11月28日）

諫早市立諫早中学校（平成25年12月16日）

長崎県立豊玉高校（平成26年9月17日）

平戸市立山田小学校（平成26年11月18日）

# 私の履歴書 ～社会貢献・出前講義～

平戸市立山田小学校（平成26年11月18日）

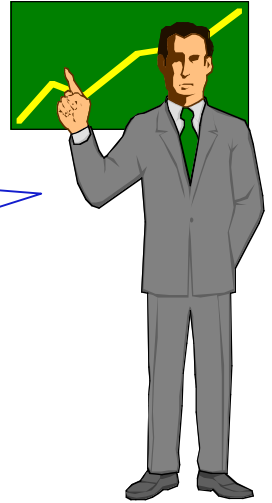
医薬品の適正使用  
と薬物乱用



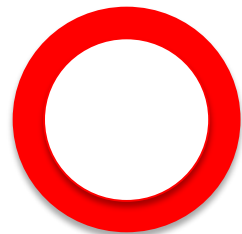


## 第5問

「食間」のくすりは、食事の最中に飲むのが正しい？



正しい

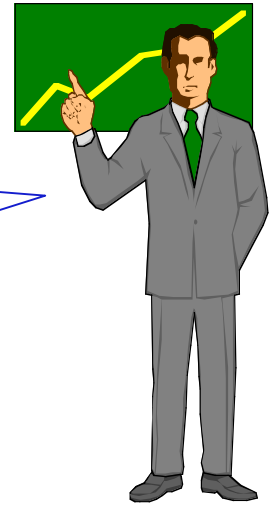


正しくない



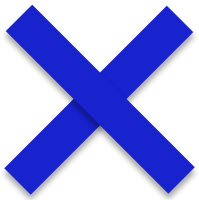
## 第5問

「食間」とは、「前の食事と、次の食事のあいだ」のことです。



ブ～

「食間」とは、食事の最中のことではなく、前の食事と次の食事のあいだのことで、食後約2時間後くらいの空腹の時のことを言います。



## 坐薬(ざやく)の正しい使い方は？

① 座って(すわって)飲む

② 溶けるまでなめる

③ お尻(しり)にいれる

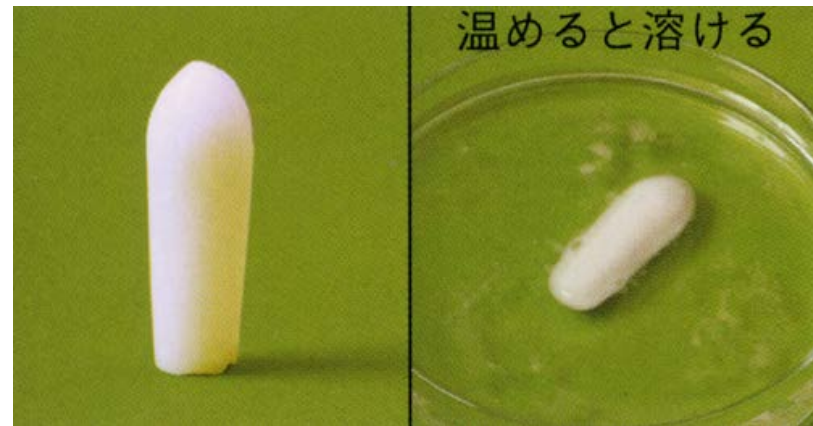
## 早く効くのは順番は？

① 注射薬

② のみ薬

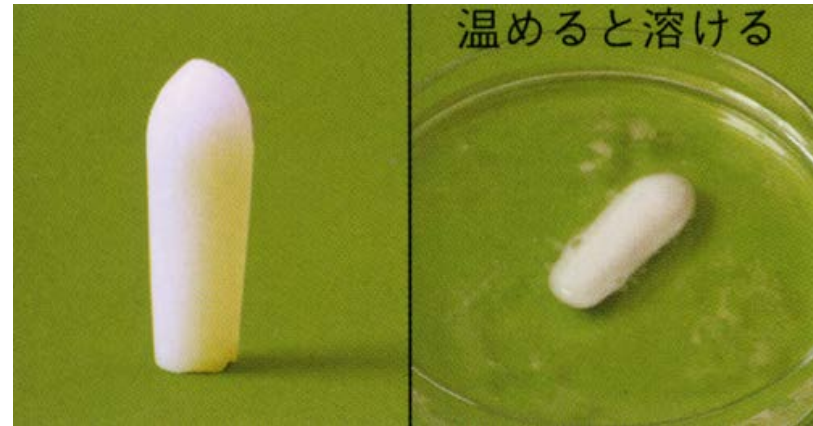
③ 坐薬(ざやく)

④ 貼り(はり)薬



## 坐薬(ざやく)の正しい使い方は？

- ① 座って(すわって)飲む
- ② 溶けるまでなめる
- ③ お尻(しり)にいれる



## 早く効くのは順番は？

- ① 注射薬 → ③ 坐薬(ざやく) → ② のみ薬 →  
④ 貼り(はり)薬

## 三「た」論法

くすりを使った。

病気が治った。

だからその薬が効いた。

■ ■ ■

「これはおかしい！」と分かったでしょう

# 私の履歴書 ～主な大学委員等役職～

副センター長 (平成17年4月～平成18年12月)

全学教育研究部門長 (平成14年4月～平成24年4月)

学士課程教育部門長 (平成26年4月～平成27年3月)

教養セミナー委員会委員長(平成14年4月～平成23年3月)

教養特別講義委員会委員長(平成17年4月～平成23年3月)

全学教育実施委員会委員長(平成17年4月～平成22年3月)

副委員長(平成16年4月～平成17年3月)

# 私の履歴書 ～主な大学委員等役職～

全学教務委員会・教務委員会委員

(平成14年4月～平成24年3月, 平成26年4月～平成27年3月)

附属図書館委員会委員および収書委員会委員

(平成17年4月～平成25年3月, 平成26年4月～平成27年3月)

情報セキュリティ委員会委員(平成14年4月～平成16年3月)

情報政策委員会委員(平成17年4月～平成22年3月)

Web学生支援システム協議会委員(平成18年4月～平成21年3月)

**セクシャルハラスメント防止委員会委員**(平成16年4月～平成20年3月)

大教センター教員会議議長(平成17年4月～平成18年12月)

その他

全学教育改善委員会, 特色GP関連委員会,

全学教育カリキュラム検討ワーキング,

高大連携推進委員・未来の科学者発掘推進委員,

センター任期制ワーキング, センター個人評価ワーキング等の委員など

## 教養セミナー

### 教養セミナーの概要

共通基礎科目

科目目標

本学の特色と他大学の取り組み状況

実施形態

教養セミナーガイドライン, ガイドブック, 事例集

### 授業改善への取り組み

学生による授業評価と教員アンケートの分析

教育マネジメントサイクル構築による授業改善

自由記述欄から見た評価と学部混成型授業

### 委員会等による授業改革

学士課程教育「学士力」における位置づけ

検討課題と今後の展望



教養セミナー

「初年次教育」という考え方

初年次教育  
(First Year Experiences)

基礎的知識の涵養  
(「リメディアル教育」の要素が強い)

大学生としての態度の涵養  
(「オリエンテーション」の要素が強い)

共通基礎科目

教養特別講義(多人数)

教養セミナー(少人数)

## 教養セミナー

# 長崎大学教養セミナーの特色

## 教員・学生ともの学部混成型のクラス編成

学部所属教員のみならず，研究所や附属病院の教員も含めた全教員シャッフルによって担当教員を配置している。

総合大学の特色を生かして，多様な考えを持つ学生がクラスを編成し，多角的に物事を考え，自己表現していく。

## テーマは，教員と学部混成型に割り振られた 学生との話し合いで決定

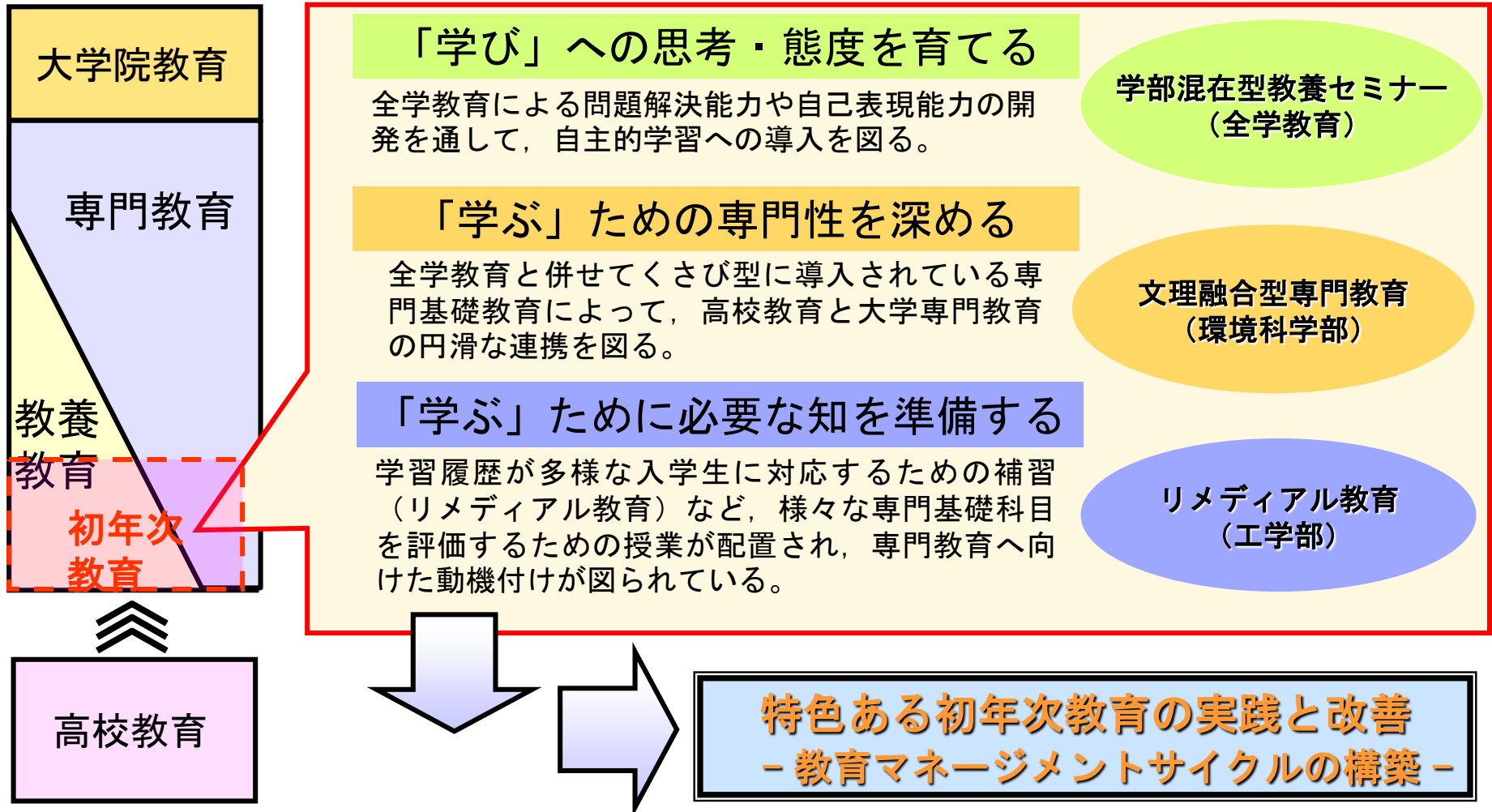
テーマは教員が与えるものでなく，学生との話し合いの過程で決めていく学生主導型の授業で，課題探求型学習によって問題解決能力を涵養する。

## 1クラス10人程度の少人数セミナー

学生同士や教員とのコミュニケーションやディスカッションに最適なクラス人数で，問題解決能力や自己表現力を養う。

## 教養セミナー

### 長崎大学の初年次教育



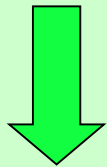
教養セミナー

教養セミナーってなに？

教養セミナーガイドブック  
(2006年度版より掲載)

高校生から大学生へ

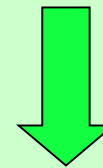
高校生 → 生徒 = 教育を受ける者



高校の授業・・・

受動的

理解する



大学生 → 学生 = 学業を修める者

大学の講義・・・

能動的

課題探求型学習

自ら問題提議し、調べたり、  
理解して解決する。

教養セミナー

## 教養セミナー

### 教養セミナーに係る教育および実施面の改善等

#### 教養セミナー委員会

教員への授業アンケート（マークシート，記述）実施（14年度～）

原則として1クラスを1人の教員が行う（15年度～）

ガイドブック，ガイドラインの改訂（15年度～）（GB感想文掲載18年度～）

優秀レポート集（14年度），事例集の発刊（15年度～）

完全学部混成クラスの構成（16年度～）

担当教員別シラバス作成（16年度～）

学部学生への教養セミナー受講効果アンケート実施（平成17年度）

合同発表会（18年度～）

#### ファカルティーデベロップメント

教養セミナーに特化したFDの継続推進による教育改善（14年度～）

コンピューター活用法ガイダンス（15年度～）

#### 全学教育カリキュラム検討ワーキング

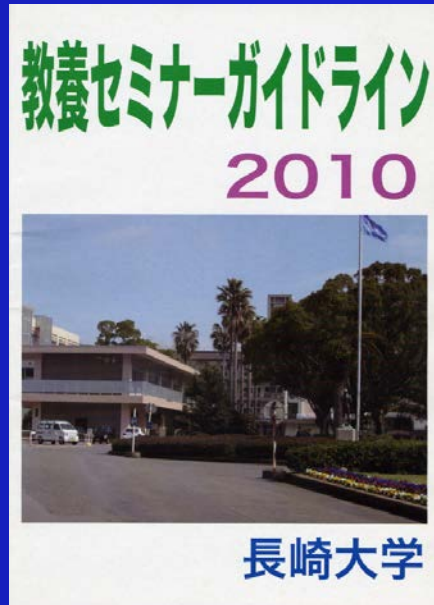
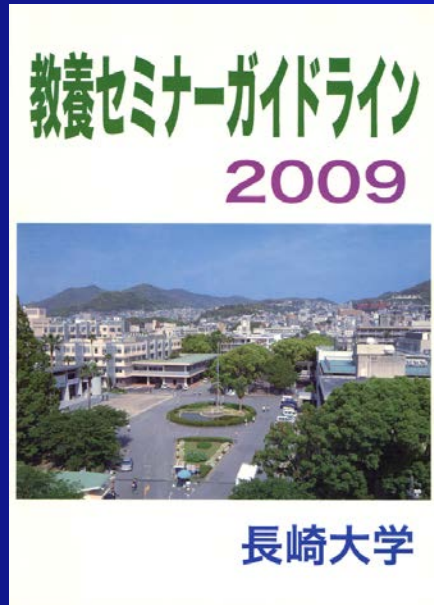
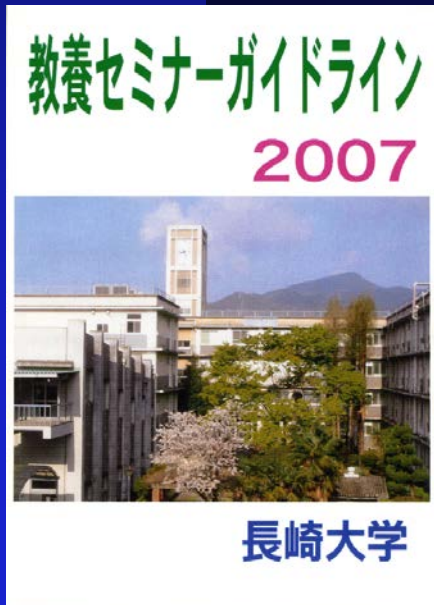
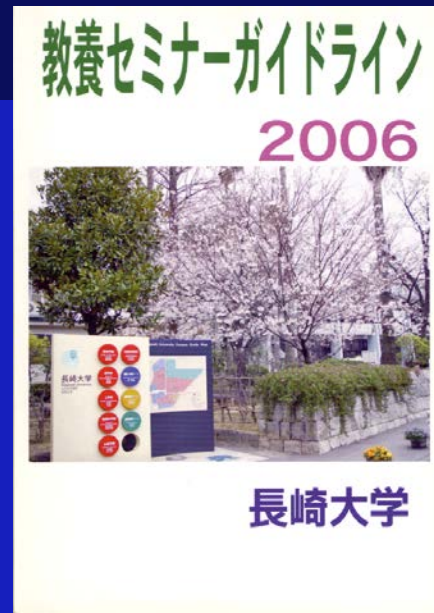
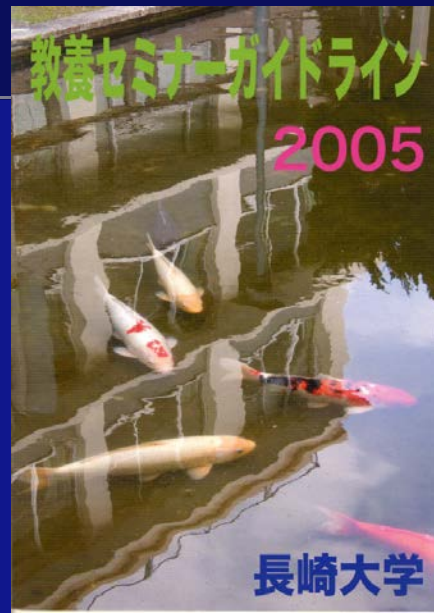
経済学部の分離（但，教養セミナーの趣旨に従う）（16年度～）

学生懇談会の開催（学部3年次生）（平成17年度）

# 教養セミナー

私の履歴書 ～主な大学委員等役職～

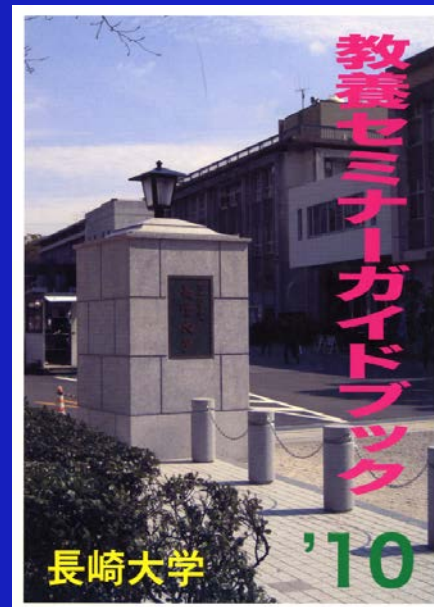
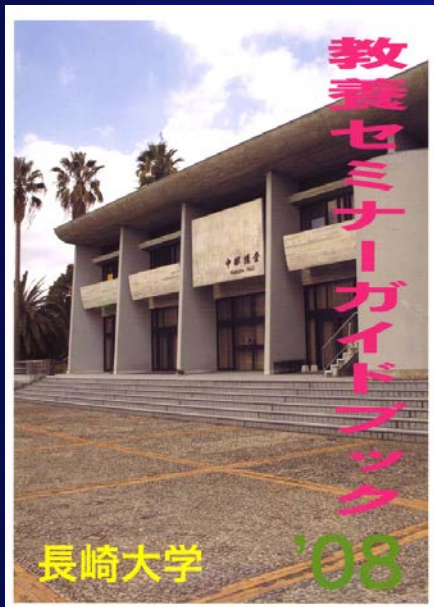
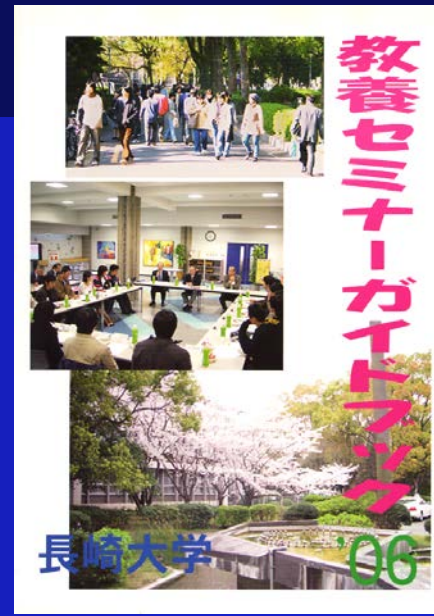
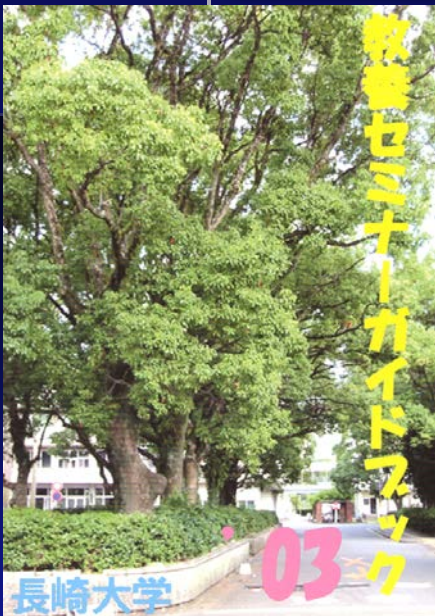
教養セミナー委員会 委員長



# 教養セミナー

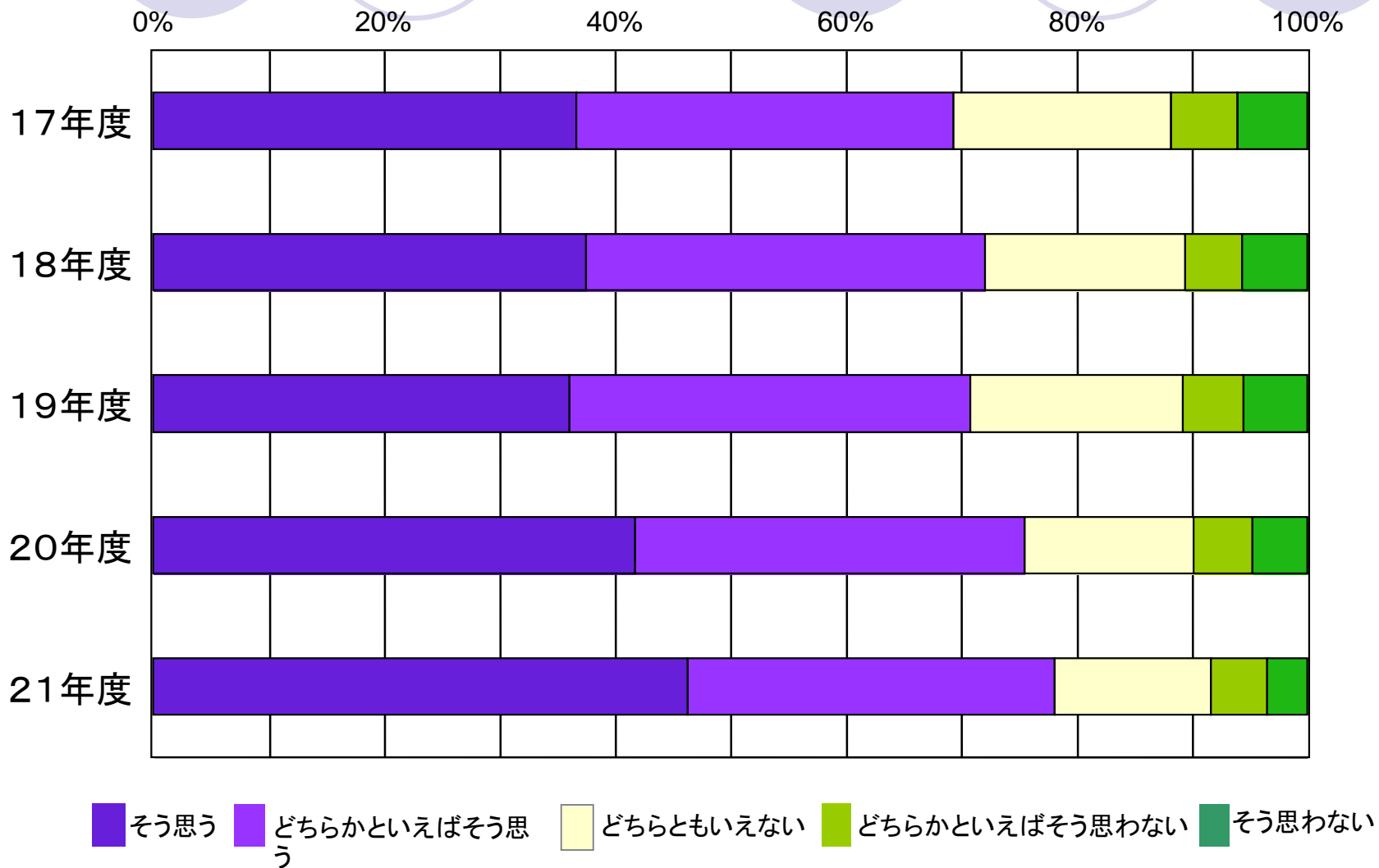
私の履歴書 ～主な大学委員等役職～

教養セミナー委員会 委員長



# Q17「教養セミナー」は今後の大学での学習に有益な授業であると思った

平成17年度～21年度の経年的「肯定的回答」の推移





## 教養セミナー

### 実施面での課題

科目目標に対比させた学生の授業評価，教員アンケートについては概ね良好で，また，学生の多くに教養セミナー授業への満足感があった。なお，実施面に関して，特に教員側から下記のような要望・意見も寄せられている。

#### 1) 教員の負担

1クラス10名編成のため，毎年160名あまりの教員の負担が大きい。

#### 2) 学部混成型について

学部ごとに教育目標が違うので，学部混成型では教育成果があがらない。学部によってレベルが異なるので，授業の進め方が困難である。

#### 3) 担当教員の質

#### 4) 選ばれたテーマの内容

その他

# 学士課程教育「学士力」養成における教養セミナーの役割

中教審答申（学士課程教育の構築に向けて、2008.12.）

21世紀型市民の養成

## 1. 知識・理解

- (1) 多文化・異文化に関する知識の理解
- (2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

## 2. 汎用的技能

### (1) コミュニケーション・スキル

プレゼンテーション力／ディスカッション力／自己表現力

### (2) 数量的スキル

### (3) 情報リテラシー 情報収集・整理・分析・再構築

### (4) 論理的思考力 批判的思考力／自分の意見をまとめる力

### (5) 問題解決力 研究デザイン＞問題発見解決力／実験デザイン能力

## 3. 態度・志向性

### (1) 自己管理能力 学習態度＞自発・積極性

### (2) チームワーク、リーダーシップ リーダーシップ／協調性

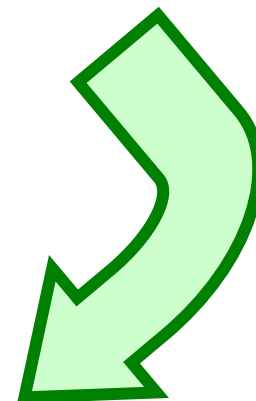
### (3) 倫理観

### (4) 市民としての社会的責任 多様性の理解

### (5) 生涯学習力 自立学習力／生涯学習力

## 4. 統合的な学習経験と創造的思考力

これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力



# 平成23年度教養セミナーについて

長崎大学教務委員会報告  
(平成22年12月27日)

## 教育目標

教養セミナーでは、大学入学以前の受動的な学習からの転換を図り、大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標としています。そのため、知的活動に**自主的に取り組む習慣**を身につけ、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を習得し、**レポート**と口頭による**プレゼンテーション**と**ディスカッション**を行うことによって**適切な自己表現能力を高める**ことを具体的目標としています。また、大学での学習の入り口として、教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を学習します。

# 長崎大学における初年次教育

## —学士課程教育における初年次セミナーの役割— 今後のあり方

1) 教養セミナー授業では、科目目標・到達目標にしたがって授業を実施してきた。「学士力」を構成する4つの柱のうち、特に汎用的技能の養成に教養セミナーの役割は大きい。また、本学のセミナーの特色である学生を主体とする授業の展開もまた、学生に双方向性の授業を提供する真の転換教育として有意義であり、自己表現力を涵養する。

2) 今回報告した平成21年度実施例は、例年実施の代表的な授業展開を示したものである。学生全員がそれぞれ考えてきたテーマを学生主体で絞り込み、クラスでまとめ、調査・研究を通じて得た成果物をレポートにし、かつ、合同発表会にてプレゼンテーションをする過程は、自己表現能力の涵養とともに、PBL型学習に価値ある機会と考える。

3) 平成22年度は、「学士力」養成の観点から、また、成績評価の基準性を担保する試みとして、ポートフォリオ・ルーブリック法による実施例を紹介した。本法は、少人数の授業では特に利用する価値があると思われる。今後、セミナーに限らず、少人数クラス授業に採り入れた授業展開は学生の振り返り学習力向上に有用と思われる。

PBLシナリオ～医薬品の役割～

第一志望の大学薬学部への入学も決まった春休み、何気なくテレビを見ていた太郎君は地震速報のテロップを見て驚いた。震度7と示された多くの地区があったからだ。平成23年3月11日午後2時46分、未曾有の大地震がおきた。しばらくテレビに見入っていたが、大津波が市街地を襲う場面が映し出され、時間が経つにつれ、被害は想像を超える甚大なものであった。週末は被害を映し出すテレビにずっと釘付けになっていたが、実は太郎君、阪神大震災のとき、自宅が半壊し被害を受けた経験があり、被災への思い入れは他の誰よりも強かった。被災地ではライフラインも途絶える中、救援物資も届かず、寒いなか1枚の毛布を数人で使用しているとの報道に歯がゆい思いをしていた。ニュースでは、被災者の中には高齢の患者や入院中の患者は言うにおよばず、通院治療の被災者も、「薬の不足で、助かる命もたすからない」と自らも被災した医師が嘆いていた。行政は「処方箋なしでも薬をわたしてよい」との措置を発表した。一方、地震・津波の被害に追い打ちをかけるような原子力発電所の放射性物質の漏洩や被曝線量の問題も日が経つにつれ深刻さを増していた。15日には首都圏でも通常より高い放射線量を観測し、都内の薬局でヨウ素入り消毒薬やうがい薬を買い求める客が急増、専門家は「飲まないで」と呼び掛けているとのニュースまで流れた。太郎君は、阪神大震災後、仮設住宅に住んでいる被災者が自殺し、この悲惨な出来事は決してめずらしいことではないという報道をふと思い出した。

PBLシナリオ～医薬品の役割～

関連：薬物の効果，薬物療法，生体作用

あなたの知っている医薬品を教えて(薬の名前，何に効くの)

くすりってどうして効くの？(受容体って？ 鍵と鍵穴，酵素，ポンプ)

あなたの気になる薬ってありますか？(なぜ気になるの？よく分からないけど調べてみるね)

病院に行ったけど，くすりって処方箋なしでもらえないの？(OTC，一般用医薬品，第○類医薬品)

被災地で緊急に必要なくすりってどんなものが考えられますか。

通院患者でもっとも処方されるくすりってなんだろうね。

血圧の高いひとは減塩醤油をよく使っているけど，どうしてなの？(血圧の仕組み)

くすりって，飲むのもあれば注射もあります。また，患部に塗ったり貼ったりするものもあります。まず，

①くすりの剤形ってどんなのがあるの？

そしてさらに，くすりは，飲んで効果を表す薬を内用薬，患部に塗ったりするのを外用薬，その他注射薬に分類されます。

そこで，

②剤形から分類してみる

飲んで口の中で効くトローチ剤ってあるけど，これって○○なんだね。

5

③なぜ○○なの？



話題提供(応用編:社会貢献)

あなたが大学教育を受けて専門領域での活躍はもちろんのこと，それ以外にどのように貢献したいと考えますか。

PBLシナリオ～医薬品の開発～

将来、大手製薬会社のMR志望の亮君は薬学部の1年生。子ども時代から身体が弱く、現在に至るまで「病気のデパートだね」と母親にいわれるぐらいであった。そんなことから、治療に処方された薬には小さいことから興味があり、将来、薬学部への進学を希望していたのであった。最初に興味をもったのは「アスピリン」であった。高校の化学教師が授業の余談か何かで言った「古くて新しい薬」と、「君たちが使う妻楊枝にも関係あるんだぜ」と言ったことに惹かれたからだ。その後、テレビや新聞に出てくる薬に関連するニュースには興味をもって聞いていた。ある日、いつものように薬をもらいにかかりつけの薬局に行ったとき、薬剤師さんが「どんな薬も乱用目的でつくられた訳ではないんだよ」と言っていた。「そういえば、くすりってどうしてできるのかな。副作用で訴訟とかあるけれど、どのような試験を行って、薬として世に出るのかな。」「それと、つい最近、肺がん治療薬イレッサを販売した製薬会社が敗訴したってテレビで言っていたな。なぜ訴訟されたのかな。」日頃、疑問に思っていたことであるが、「一度調べてみよう」とつぶやいた。

PBLシナリオ～医薬品の使用～

和雄君は薬学部4年生である。二十歳を過ぎているので飲酒、喫煙は法律上許されているが、タバコは吸わない。酒はつきあい程度で深酒はしない。一方、同居の父親がヘビースモーカーで、同じ部屋の中でタバコを吸われるのが嫌で、和雄君は再三、父親に禁煙を勧めるが無理だというので、最近、認可された簡単な方法を説明した。なぜ、父親は禁煙できないのかな。なんだか大学で聞いた、「覚せい剤を使用した人は警察に捕まってもやっぱりやめられない」という話と同じじゃないかと思った。また、覚せい剤常習者は心不全で突然死するケースがあるという話も聞き、覚せい剤って頭の中で作用するだけじゃないのかとも思った。「そういえば、覚せい剤の化学構造って、何かのそれに似てなかったかな？」と思いついた。来週にある4年生の講座ゼミの発表会が気になり、そのことは忘れてしまった。発表会の題材は、所属するスポーツ系クラブでときどき話題になるドーピングを採り上げようと思った。ドーピングって違反だからよくないって思うけど、なぜ悪いと言われると何だか明解な説明はできない。発表当日、和雄君の番が回ってきた。あれだけ一生懸命資料を調べて万全なのに、胸がドキドキして止まらない。



## 教養特別講義

# 科目目標

豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材の育成及びものの見方・考え方の多様性を知り、学習意欲をかきたたせるような教育を目標とする。実施方法としては、特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は「長崎」「平和」「海洋と文化」の分野について講義する。



「人材育成」・・・「豊かな心をも」つ・「平和を支え」る・「社会に貢献する」

「知る」・・・「ものの見方・考え方の多様性」

→(その結果として)「学習意欲」を「かきたたせる」

# 長崎大学「教養特別講義」の目標

## 長崎大学の理念

長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する。

### 特別講演形式

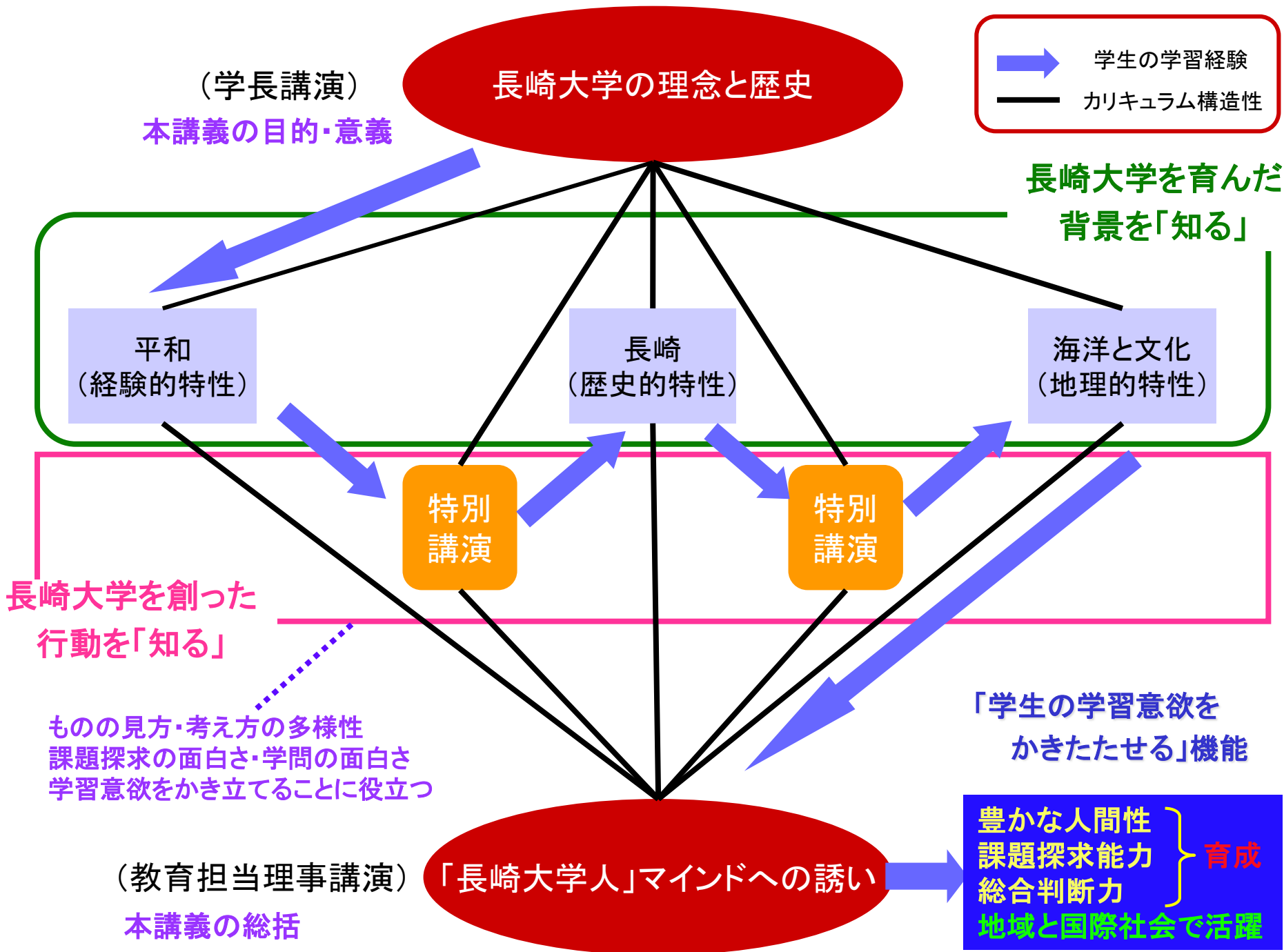
「学長・理事・名誉教授」  
ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを学ぶ

### 講 義 形 式

「長崎」  
学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する

「平和」  
被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む

「海洋と文化」  
地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する



# 教養特別講義

## 私の履歴書 ～主な大学委員等役職～

教養特別講義委員会 委員長

平成20年度

### 教養特別講義の学び方

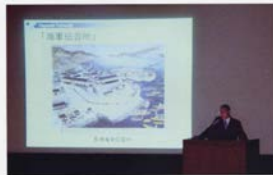


教養特別講義 甲武講義 / 坂本城史

教養特別講

平成19年度

### 教養特別講義の学び方



教養特別講義 甲武講義 / 坂本城史

教養特別講義科目委員会

平成21年度

### 教養特別講義の学び方



長崎大学正門 (文教キャンパス)



教養特別講義 特別講義 / 投資経済 / 中野謙幸にて

教養特別講義委員会

平成22年度

### 教養特別講義の学び方



長崎大学正門 (文教キャンパス)



教養特別講義 / 投資経済 / 中野謙幸にて

教養特別講義委員会

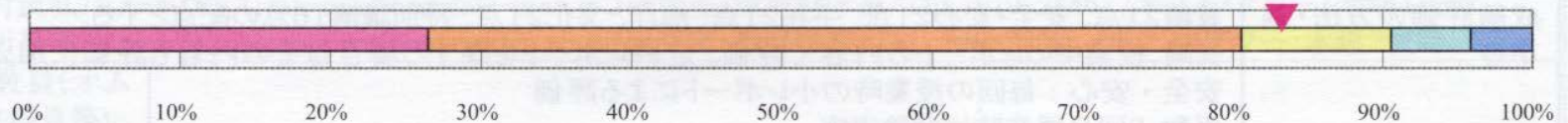
# 教養特別講義

## アンケート調査結果

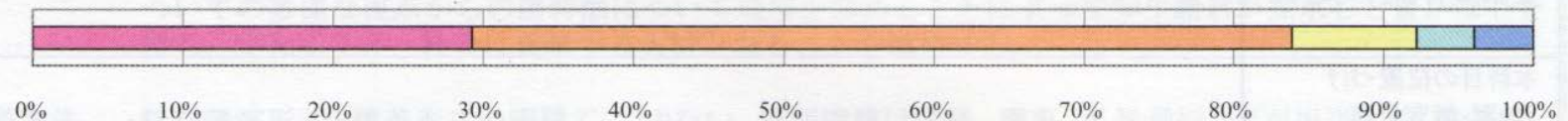
アンケート回答数 1,337名  
平成21年8月最終講義時

1. 4つの講義形式「長崎」「安全・安心」「平和」「海洋と文化」には、「長崎大学を育んだ背景を知る」との科目の目標構造的なありますが、この目標に到達したと思いませんか。

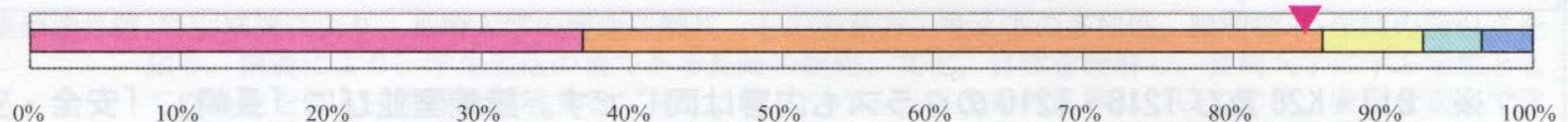
### ① 「長崎」(歴史的・特性)



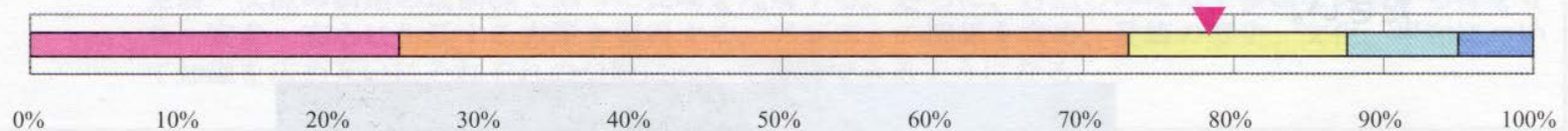
### ② 「安全・安心」(自然・地域)



### ③ 「平和」(経験的・特性)

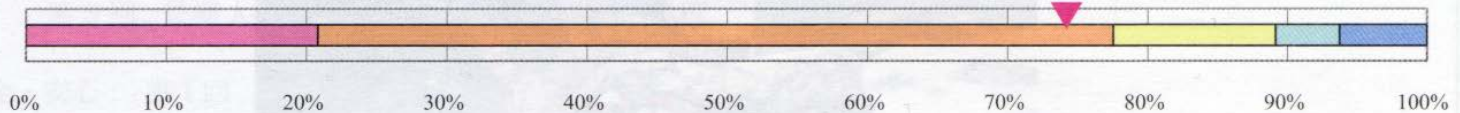


### ④ 「海洋と文化」(地理的・特性)

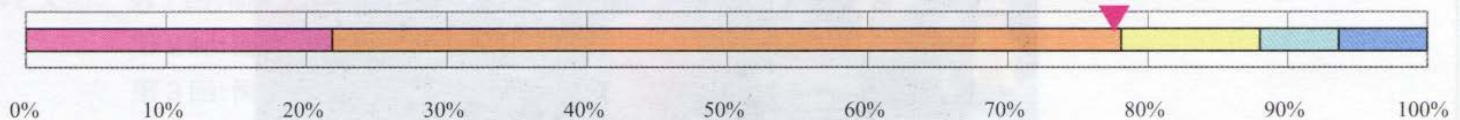


教養特別講義

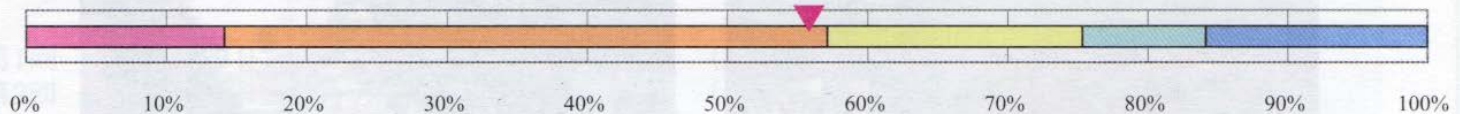
2. ⑤ 特別講演形式「名誉教授」による講演には、「ものの見方・考え方の多様性, 課題探求・学問の面白さを学ぶ」ことを目標としていますが, この目標に到達することができましたか。



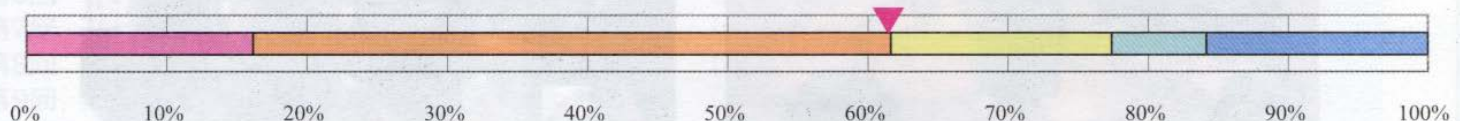
3. ⑥ 「教養特別講義」科目全体を通して, あなたはこの授業に満足できましたか。



4. ⑦ガイドブック「平成21年度『教養特別講義の学び方』」は, 科目目標や科目構造的を知る上で,



5. ⑧ ガイドブック「平成21年度『教養特別講義の学び方』」は, 授業の実施方法を知る上で,



できたと思う 役に立った
  だいたいできたと思う まあまあ役に立った
  わからない わからない
  あまりできたと思わない あまり役にたたなかった
  できたと思わない役に立たなかった

▼ 平成20年度の肯定的評価(参考)

# 私の履歴書 ～初年次教育に関する講演～

教養セミナーと  
教養特別講義

## ゲストスピーカーと学会発表

- 平成15年／長崎大学      平成16年／和歌山県立医大  
平成17年／宮崎大学, 金沢大学  
平成18年／大学基準協会, 九州大学, 香川大学, 東北大学,  
陝西理工学院大学, 陝西師範大学, 長崎大学,  
西九州大学, 玉川大学, 佐賀大学  
平成19年／西南学院大学      平成20年／福岡教育大  
平成21年／教育改革IT戦略大会(アルカディア市ヶ谷)

## <学会発表>

- 平成15年／中村学園大学  
平成16年／國學院大學  
平成17年／九州大学  
平成18年／鹿児島大学

# 私の履歴書 ～シンポジウム企画～

## シンポジウム1

### 特別講演

「若者の変化と『教養』の行方」

佐藤友美子(サントリー不易流行研究所部長)

「大学戦略からみた初年次教育の位置付け—高校生の学習スタイルの変化と海外の事例から—」

山本 以和子(ベネッセコーポレーション・教育情報担当)

### 少人数セミナーを支援する教養教育体制報告

熊本大学からの報告 大学教育機能開発総合研究センター 本間 里見 助教授

広島大学からの報告 総合科学部 高谷 紀夫 教授

東北大学からの報告 大学教育研究センター 関内 隆 教授

長崎大学からの報告 大学教育機能開発センター 高橋 正克 教授

### パネルディスカッション

日時：平成 16 年 1 月 23 日(金)13:00～17:30

場所：長崎大学教育学部 SCS 教室(長崎市文教町 1-14)

#### 【特別講演】

13:10～14:10

「若者の変化と『教養』の行方」

佐藤友美子(サントリー不易流行研究所部長)

14:10～15:10

「大学戦略からみた初年次教育の位置付け」

—高校生の学習スタイルの変化と海外の事例から—

山本以和子(ベネッセコーポレーション北海道支社 教育情報担当)

#### 【少人数セミナーを支援する教養教育体制報告】

15:30～17:30

熊本大学大学教育機能開発総合センター 助教授 本間里見

広島大学総合科学部 教授 高谷紀夫

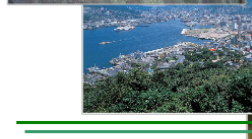
東北大学大学教育研究センター 教授 関内 隆

長崎大学大学教育機能開発センター 教授 高橋正克

パネルディスカッション

変わる若者

変わるべき教育



### 21世紀の人材を育てる 「教養」とは何か

長崎大学大学教育機能開発センター設置1周年記念  
「特色ある大学教育支援プログラム」初年次教育プロジェクト

連絡先 TEL : 095-819-2076 (長崎大学大学教育機能開発センター事務局)

FAX : 095-819-2098 (長崎大学大学教育機能開発センター事務局)

E-mail : info@red.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学大学教育機能開発センター設置1周年記念  
「特色ある大学教育支援プログラム」初年次教育プロジェクト  
シンポジウム

### 研究報告集



2004年3月

長崎大学 大学教育機能開発センター

少人数  
セミナー





# 変わる若者、 変わるべき教育

—学生を支援する教育体制、  
魅せます大学特色科目—

【特別講演】  
13:10～14:10  
「寒風の中で“樹氷”という名のFDが成長する—山形大学実践編—」  
小田隆治(山形大学 教授)

【学生を支援する教育体制、大学特色科目】  
14:20～17:30  
「金沢大学における学生企画科目—志青野 透(金沢大学大学教育開発センター 教授)—」  
「学生発想の教養正式科目—岡山大学 橋本 勝(岡山大学教育開発センター 教授)—」  
「琉大特色科目—大学の理念を実質化 仲地 博(琉球大学法文学部 教授)—」  
「教養特別講義—『長崎を学ぶ』初年 栗山一孝(長崎大学大学教育機能開発センター 教授)—」

日時：平成17年1月21日(金)  
場所：長崎大学総合研究

連絡先 TEL 095-819-2076(長崎大学)  
FAX 095-819-2098(長崎大学)  
E-mail info@redc.nagasaki-u.ac.jp  
URL http://www.redc.nagasaki-u.ac.jp

特色科目

第2回長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム

## 変わる若者、変わるべき教育

—学生を支援する教育体制、魅せます大学特色科目—

### 研究報告集



2005年3月

長崎大学 大学教育機能開発センター

## 私の履歴書 ～シンポジウム企画～

### シンポジウム2

#### 特別講演

「寒風の中で“樹氷”という名のFDが成長する—山形大学実践編—」

小田 隆治(山形大学 教授)

司会 栗山 一孝(長崎大学大学教育機能開発センター副センター長)

学生を支援する教育体制、大学特色科目  
実践報告

「学生企画科目」金沢大学大学教育開発・支援センター 教授 青野 透

「学生発想の教養正式科目」岡山大学教育開発センター 教授 橋本 勝

「琉大特色科目」琉球大学法文学部 教授 仲地 博

「教養特別講義」長崎大学大学教育機能開発センター 教授 栗山 一孝

パネルディスカッション

司会 高橋 正克(長崎大学大学教育機能開発センター教授)

**新しい教養教育を目指して**  
 ～カリキュラム改革、高等教育のユニバーサル化対応の処方箋～

- 日時: 06/1/27(Fri) 13:00～18:15
- 場所: 長崎大学総合教育研究棟 2F 多目的ホール

**Program**

- 13:00 ~ 13:10  
開会の辞 ..... 齋藤 寛 (長崎大学長)
- 13:10 ~ 17:00  
**講演**  
「カリキュラム改革についての取組」  
「新学士課程教育システム構築への総合大学の挑戦—分野・水  
—濱口 哲 (新潟大学 教授)  
「学際系・総合系科目の現状と課題」  
—山田 雅彦 (熊本大学 教授)  
「コースカリキュラムによる教養教育の現状と課題」  
—何 暁毅 (山口大学 助教授)  
「九州大学21世紀プログラムで育ったもの—学部横断型学士  
—副島 雄児 (九州大学 教授)  
「長崎大学の挑戦—初年次教育の強化・『教育マネジメントサ  
—井手 弘人 (長崎大学 講師)
- 17:10 ~ 18:10  
**パネルディスカッション**  
「カリキュラム改革における初年次教育の位置」
- 18:10 ~ 18:15  
閉会の辞 ..... 福永 博俊 (長崎大学理事・大学教育機能開

**連絡先**  
 TEL 095-819-2076 (長崎大学大学教育機能開発セン  
 FAX 095-819-2098 (長崎大学大学教育機能開発セン  
 E-mail info@redc.nagasaki-u.ac.jp  
 URL http://www.redc.nagasaki-u.ac.jp/sympo

**第3回長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム**  
 (特色 GP「特色ある初年次教育の実践と改善」連携シンポジウム)

**新しい教養教育を目指して**  
 ～カリキュラム改革、高等教育のユニバーサル化対応の処方箋～

**研究報告集**



2006年3月

長崎大学 大学教育機能開発センター

**私の履歴書 ～シンポジウム企画～**

**シンポジウム3**

**カリキュラム改革についての取組**

「新学士課程教育システム構築への総合大学の挑戦—**分野・水準表示法**と副専攻制度の導入—」  
 濱口 哲 (新潟大学 教授)

「**学際系・総合系科目の現状と課題**」  
 山田 雅彦 (熊本大学 教授)

「**コースカリキュラムによる教養教育の現状と課題**」 何 暁毅 (山口大学)

「九州大学21世紀プログラムで育ったもの—**学部横断型学士教育の実例**—」  
 副島 雄児 (九州大学)

「**長崎大学の挑戦—初年次教育の強化・『教育マネジメントサイクル』の提唱とFD実践—**」 井手 弘人 (長崎大学 講師)

パネルディスカッション

**カリキュラム改革**

## シンポジウム4

### 特別講演

新潟大学における新学士課程教育の構築—主専攻プログラムを目指して—  
新潟大学 教授 濱口 哲

### 基調講演

京都大学における英語のカリキュラム改革—専門教育との連携を目指して—  
京都大学 教授 田地野 彰

### 講演

大阪大学の英語教育の改革と現状—「読み」のゆくえ—  
大阪大学 准教授 森 祐司

熊本大学教養英語教育の改革と現状  
熊本大学 准教授 島谷 浩

長崎大学における中国語教育の現状と今後の課題  
長崎大学 教授 楊 曉安

パネルディスカッション

第4回長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム

## 新しい教養教育を目指して

—カリキュラムから科目改革まで、  
語学教育の潮流を読む—

- 日時 平成19年12月26日(水)13:00~18:10
- 開催場所 長崎大学総合教育研究棟 多目的ホール(2F)

### プログラム

- 13:10 ~ 14:10
- 特別講演 「新潟大学における新学士課程教育の構築—主専攻のプログラムを目指して—」  
濱口 哲(新潟大学 教授)
- 14:15 ~ 15:15
- 基調講演 「京都大学における英語のカリキュラム改革—専門教育との連携を目指して—」  
田地野 彰(京都大学 教授)
- 15:30 ~ 17:00
- 講演1 「大阪大学の英語教育の改革と現状—『読み』のゆくえ—」  
森 祐司(大阪大学 准教授)
- 講演2 「熊本大学教養英語教育の改革と現状」  
島谷 浩(熊本大学 准教授)
- 講演3 「長崎大学における中国語教育の現状と今後の課題」  
楊 曉安(長崎大学 教授)
- 17:10 ~ 18:00
- パネルディスカッション
- 対象者 教養教育に関わる国立大学および県内公私立大学の教員  
県内の英語教育に関わる高等学校教職員
- 主催 長崎大学大学教育機能開発センター
- 後援 長崎県教育委員会
- 企画・実施 長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム実行委員会
- 連絡先 TEL 095-819-2077 (長崎大学大学教育機能開発センター事務局: 藤原)  
FAX 095-819-2098 E-mail: yukun@nagasaki-u.ac.jp  
URL: <http://www.redc.nagasaki-u.ac.jp/>(長崎大学大学教育機能開発センターホームページに掲載)

※参加ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・E-mailアドレスを明記うえ、上記宛にメールまたはFAXにてお申し込み下さい。

## 語学教育



# 私の履歴書 ～所属学会・役員等～

在籍会員

## 日本薬理学会

会員 昭和47年(1972)11月～ (現在に至る)

評議員 昭和59年(1984)3月～ (現在に至る)

## 日本神経精神薬理学会

会員 昭和58年(1983)4月～ (現在に至る)

評議員 平成3年(1991)1月～ (現在に至る)

編集委員 平成3年(1991)1月～平成8年(1996)12月

## 日本疼痛学会

会員 昭和57年(1982)12月～ (現在に至る)

評議員 平成3年(1991)1月～ (現在に至る)

## 日本リメディアル教育学会

会員 平成17年(2005)3月～ (現在に至る)

理事 平成22年(2009)4月～平成25年(2013)8月

# 私の履歴書 ～所属学会・役員等～

退会会員

## 日本薬学会

会員 平成4年1月～平成15年12月

Chem.Pharm.Bull.編集委員 平成4年1月～平成4年12月

薬学雑誌編集委員 平成4年1月～平成5年12月

Biol.Pharm.Bull.編集委員 平成4年1月～平成6年12月

九州支部庶務幹事 平成6年1月～平成6年12月

## 鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会

会員 昭和57年9月～平成26年12月

世話人 平成4年9月～平成26年12月

日本神経化学会 会員 昭和58年9月～平成14年12月

日本ストレス学会 会員 平成5年4月～平成15年3月

日本薬剤師会会員 会員 平成8年4月～平成25年3月

日本医療薬学会 会員 平成12年1月～平成14年12月

日本高等教育学会 会員 平成16年4月～平成22年3月

# 私の履歴書 ～学術論文(学術総説含む)～

- 1) Irreversible binding of [<sup>3</sup>H]-β-funaltrexamine to brain slices of morphine tolerant and dependent mice. *European Journal of Pharmacology*, 149(3), 205-212 (1988)
- 2) Blockade of the development of analgesic tolerance to morphine by concurrent treatment with opioid- but not non-opioid-mediated stress in mice. *Japanese Journal of Pharmacology*, 46(1), 1-5 (1988)
- 3) Role of spinal κ-opioid receptors in the blockade of development of analgesic tolerance to morphine. *European Journal of Pharmacology*, 200(2-3), 293-297 (1991)
- 4) 抗不安薬のスクリーニング法 (6) – 心理的ストレス反応を指標とした評価法. *日本神経精神薬理学雑誌*, 15(5), 375-383 (1995)

# 私の履歴書 ～著書など～

- 1) 高橋正克, 耐性の形成と抑制, 121-127. オピオイドー化学物質が解き明かす生体の謎—(化学増刊 120), 化学同人(京都), 平成3年11月
- 2) 高橋正克, 薬物依存と薬の安全性, 49-77. 薬の安全性 – その基礎知識 (改訂第 3 版), 南山堂 (東京), 平成7年4月
- 3) 高橋正克, 長崎大学初年次少人数セミナー (教養セミナー) の現状と課題, 40-71. 大学における初年次少人数教育と「学びの転換」, 東北大学出版会 (仙台), 平成19年3月
- 4) 池上四郎, 金 相元, 高橋正克, 堀口よし江, 宮田興子, 山内昌茂. 薬品化学 (改訂第 8 版), 南江堂 (東京), 平成19年4月

など 13本

# 私の履歴書 ～その他～

(商業誌への総説, 解説, 科学振興財団・委託研究からの依頼論文・研究報告など)

- 1) 高橋正克, 金戸 洋: 鎮痛効果の測定法, 総合臨床, 31(10),2567-2568 (1983)
- 2) 高橋正克, 金戸 洋: 薬物中毒と薬物依存, Clinical Neuroscience, 6 (5), 82-83 (1988)
- 3) 高橋正克, 徳山尚吾, 金戸 洋: ストレス誘発鎮痛—特に心理的ストレスを中心として—, 臨床薬理瀬戸内カンファレンス, 第3号, 7-16 (1996)
- 4) 高橋正克, 中嶋弥穂子: 長崎大学薬学部における医療薬学実習について, 九州薬学会会報, 第53号, 119-127 (1999)

など 38本



# 私の履歴書 ～口頭発表など～

○高橋正克, 小井田雅夫, 金戸洋: モルヒネ抗体: ハプテン構造による特異性の変化について, 第 26 回日本薬理学会西南部会, 昭和 48 年 11 月 (琉球大) 日薬理誌, 70(3), 30P (1974)

・・・大学院2年生で初めての学会発表

○M. Takahashi, R. Izumi, H. Kaneto and M. Koida: Effects of psychotropic drugs on the levels of enkephalins, their receptors and enkephalinase in rat brain. International Narcotic Research Conference, July 1981 (Kyoto)

・・・英語で初めての発表(ポスターセッション)

○Masakatsu Takahashi, Reiko Izumi and Hiroshi Kaneto: Comparative studies on morphine- and stress-induced analgesia in mice. The 2nd Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology, November 1983 (kyushu University)

・・・英語で初めてのオーラルプレゼンテーション

など 171本(薬学関連のみ)

# 私の履歴書 ～大学教育(最近5年)～

教養セミナー(全学), 教養ゼミナール(薬学)

モジュールII科目: 生命と薬II～薬の開発を主体とした動物行動分析と推計学～

生命の科学～動物行動の分析学～

以上全回

平成長崎塾(オーガナイザー, 分担)

教養特別講義(再履修者対象, 集中講義)

教養セミナー(水産学部, 分担)

モジュールI科目: コミュニケーション実践学～コミュニケーションの生物学～(分担)

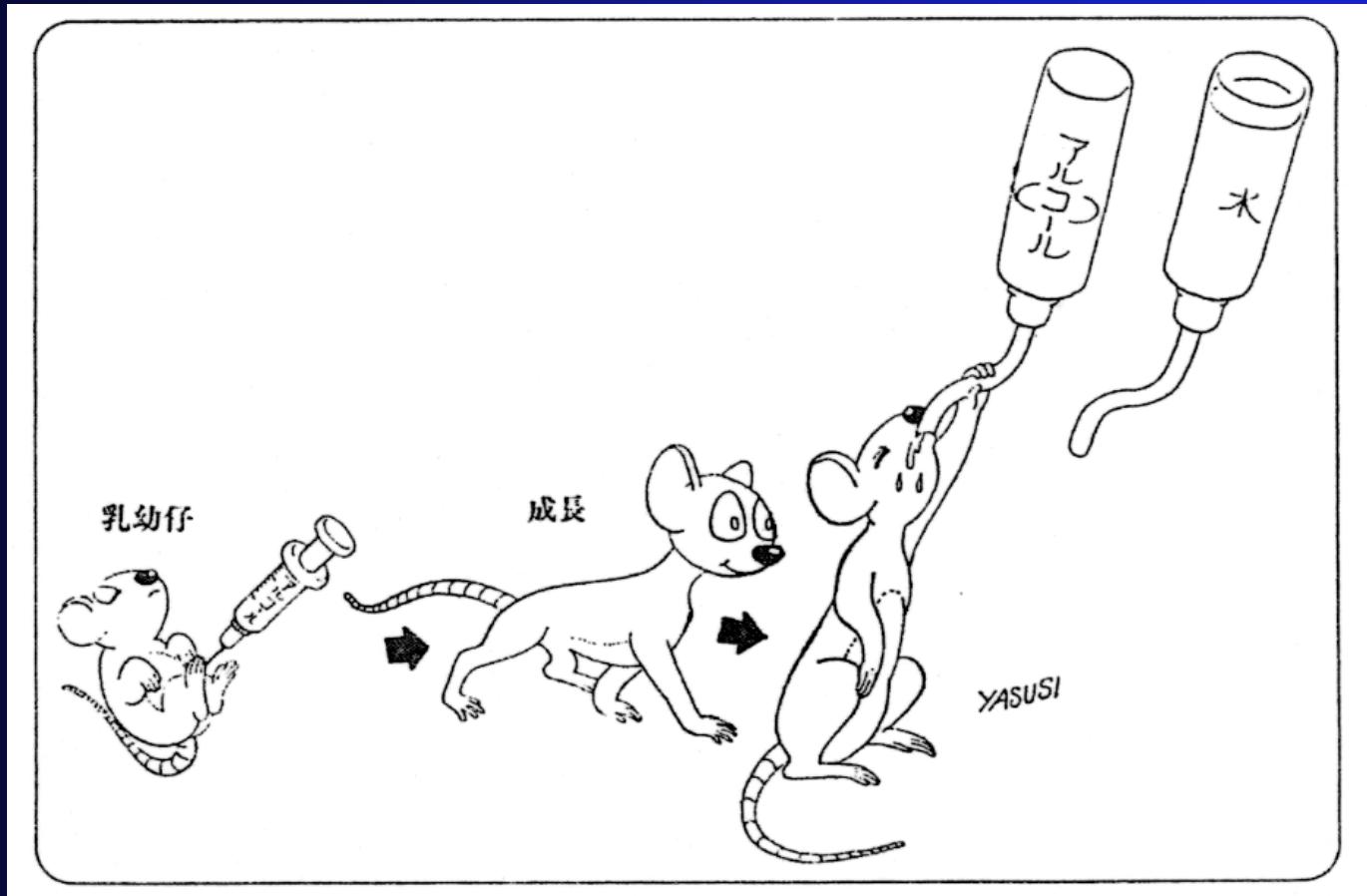
酒の科学(分担), 教養とは(分担), 時間の科学(分担)

薬学概論(薬学分担), 医療過誤と医療倫理(薬学分担), 医療統計学(薬学分担), 医薬品情報学(薬学分担)

薬理代謝学(シーボルト校, 非常勤, 全回)

# 私の履歴書 ～授業の一コマから～

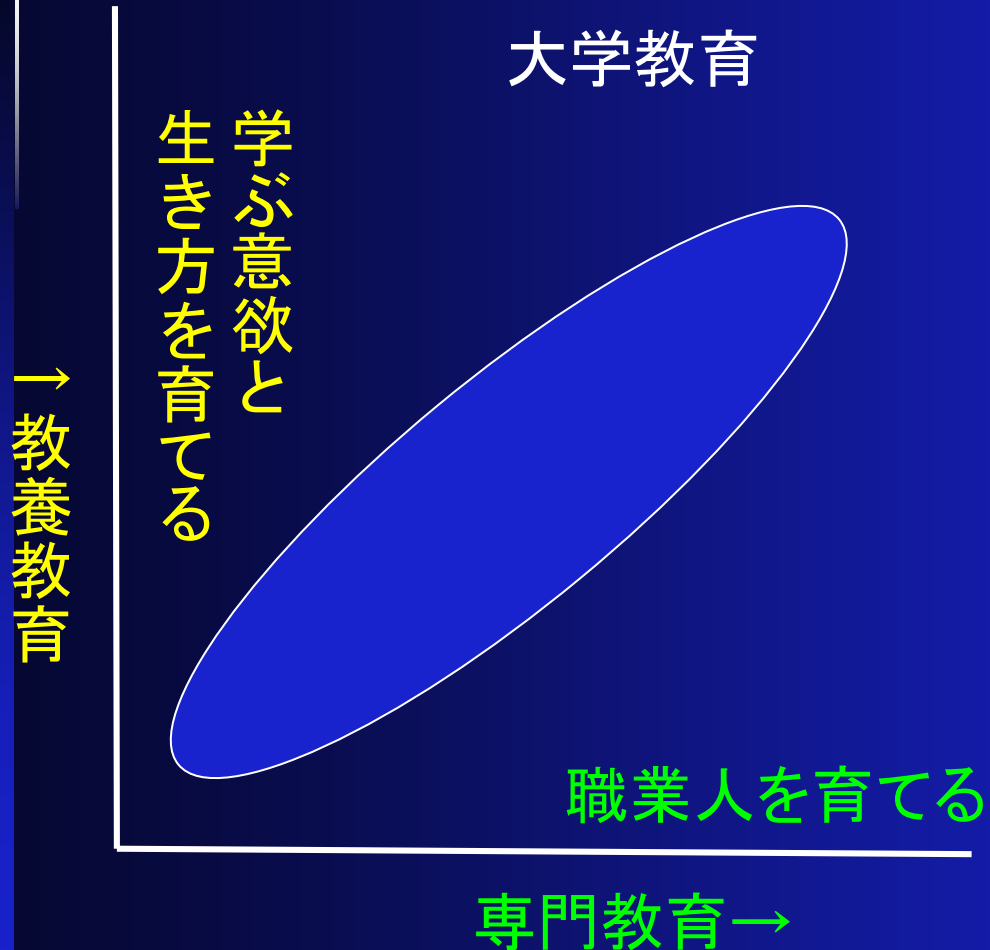
乳幼仔における薬物の経験と学習機能(成熟後のアルコール嗜好性試験)



# 私の履歴書 ～大学教育について考える～

## 教養教育と専門教育の役割と連携

教養とは



教養教育は、大学教育の根幹である。言い換えれば、大学教育は、この学ぶ意欲と生き方を育てる教養教育を縦軸とした広がりのもと、横軸として職業人を育てる専門教育との積としての広がりをもたらすことにある。

さいた一輪

いとおしく

きれいな花に

なれよと願う

なな十億の

頂の星

2011年(平成23年)10月31日 月曜日

朝日新聞 天声人語



No. 0170

「70億人目の赤ちゃん」認定証

さわやか色に  
いのちが芽吹く  
きぼうを紡ぎ  
ゆめ想う心  
づかいと優しさで  
きずな輪になれ  
悠の月

たかきへ昇る  
かぜにのり  
はづきに芽吹く  
しん星は  
りりしく翔き  
ゆめ抱く  
うちゆうに  
きらめく天の馬



洒落の落款印

美祢想多



みね そつた

みや ×



Minnesota

# 父へ捧ぐ 母へ捧ぐ

母上 さま  
父上 さま  
もう出発されましたか 道は分かりま  
すか みんないますよ みんな待って  
いますよ  
母上さまは初めてのお盆の旅でしたね  
みんなさみしかったですよ しばらくお話  
してきますね  
みんな仲良く元気で頑張っています  
はやく逢いにきてくださいね

平成二十六年夏・・・初盆の道案内

# 袖ふれ合うも多生の縁

多くの出逢いをありがとうございます。



一度だけ言うとあぶないけれど、二度言うとおいしい  
言葉って何？

一度だけ言うとあぶないけれど、二度言うとおいしい言葉って何？

「しゃぶ」「しゃぶしゃぶ」